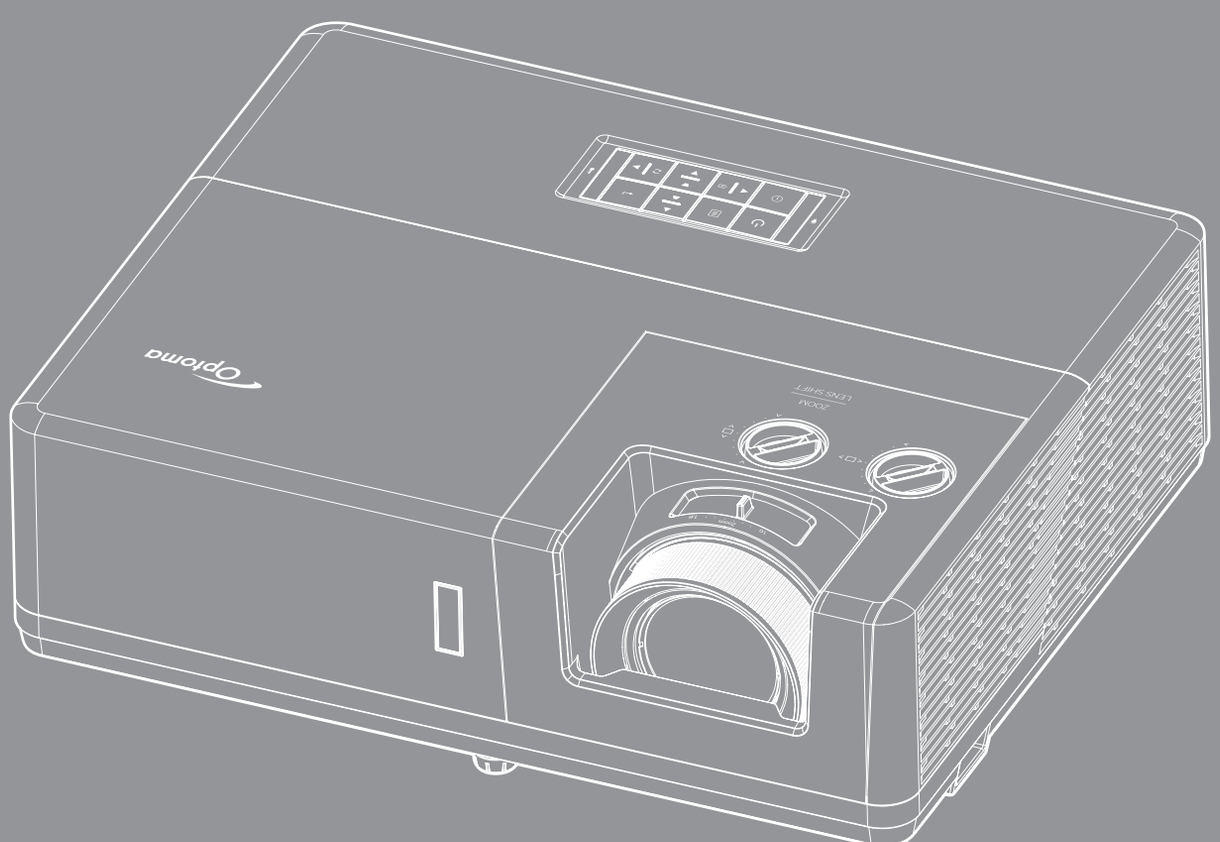
Optoma

WUXGA DLP レーザープロジェクター

AZU717T

取扱説明書



ユーザーマニュアル

4K Compatible HDR Compatible 3D Full HDBT HDMI CRESTRON CONNECTED PJLink Extron IP LINK CERTIFIED DLP TEXAS INSTRUMENTS

目次

使用上のご注意 4

安全上のご注意 4
レンズの清掃 6
レーザー放射安全情報 6
著作権 7
免責条項 7
商標権 7
FCC 7
EU 諸国への適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 12

設定と設置 13

プロジェクターの設置 13
ソースをプロジェクターに接続する 15
投写画像の調整 16
リモコンの準備 18

プロジェクターを使用する 20

プロジェクターの電源を入れる/切る 20
入力ソースを選択する 21
プロジェクター設定メニュー(OSD) 22
OSD メニューツリー 23
映像メニュー 30
ディスプレーメニュー 34
設定メニュー 39
入力メニュー 42
オーディオメニュー 44
コントロールメニュー 45
情報メニュー 56

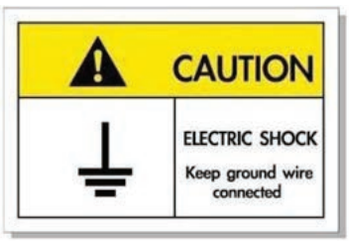
追加情報 57

対応解像度 57
イメージサイズと投写距離 62
プロジェクターの寸法と天井取り付け 63
IR リモコンコード 64
故障かなと思ったら 66
警告インジケーター 68
仕様 69

安全上のご注意

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユ ーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- お子様については、プロジェクターからの光線はどんな距離からでも見つめさせないようにしてください。
- プロジェクターのレンズ前でリモコンを操作してプロジェクターを起動させる場合は、特にご注意ください。
- ユーザー各位は、光線経路に双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにご注意ください。
- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。例えば、多くの物が置いてあるところにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
  注）：火災や感電の原因になります。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。
  注）：危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 0°C ～ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は最大 80% です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。

使用上のご注意

- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは次のような場合をいいます (但し、これは一部の例です)：
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
  注）プロジェクターが落下してけがの原因となるか、または機器が破損する恐れがあります。
- プロジェクターの操作中、プロジェクターのレンズから出る光線を遮らないでください。
  注）光がプロジェクター本体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
  注）感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。
- 注）カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。
- 本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- 安全に関係する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。
- 注）強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
  プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。
- 注）プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
  ディスプレイの本体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- 注）本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
  保管前にリモコンから電池を取り外してください。
- 注）長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 間違ったタイプの電池に交換すると火災や爆発の危険性があります。
  石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。
- 注）プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
  プロジェクターは正しい向きで設置してください。
- 注）標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
  電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。
  注）停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

使用上のご注意

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いて本体の温度が完全に下がるのを待ってください。
- ホコリを取り除くには、圧縮空気スプレーをご使用ください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズは素手で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性洗剤またはアルコール等の揮発性の溶剤を使わないでください。
  ※清掃処理により、レンズが損傷した場合は、保証の対象外となります。

警告: レンズからホコリや汚れを取るのに、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度な熱により、火災が発生する可能性があります。

警告: プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。レンズ表面のフィルムが剥がれる恐れがあります。

警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。 詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。
- IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲にいる人がレンズを見ていないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物(拡大鏡など)を置かないでください。レンズから投写される光路は広範囲であるため、レンズから出てくる光の方向を変換させるあらゆる種類の異常な物体が、火災や目の損傷などの予期しない結果を引き起こす可能性があります。
- 取扱説明書に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露によって負傷する可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターの電源が入っているときに、レーザービームを見つめないでください。明るい光によって、目に永続的な障害が生ずる恐れがあります。

コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射の曝露によって、負傷する恐れがあります。

使用上のご注意

著作権

この取扱説明書は、全ての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。この取扱説明書に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2023

免責条項

本書の情報は予告なしに変更されることがあります。製造元は記載内容を代表、または保証することはありませんし、また商品性の暗黙の保証および特定の目的への適合性に関しての責任は負いかねます。製造元は当出版物の内容に関して時に応じて変更する権利を有し、またそのバージョンや変更に関する通知の義務は一切持たないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界における各地の登録済または登録申請中のものも含まれます。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビ受信に障害を与えていないか判断するには、本装置の電源をオン・オフしてみます。受信障害が発生している場合には、

下記の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店や資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールド付きケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールド付きケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

使用上のご注意

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1.本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。

2.本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE

廃棄物に関する指示

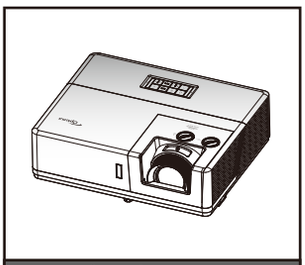
この電子デバイスを処分するとき、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。

はじめに

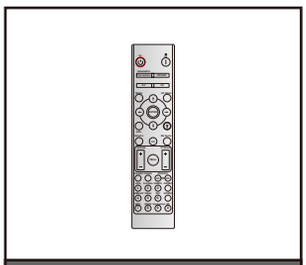
パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、標準アクセサリー一覧に記載されている品目が揃っていることを確認してください。

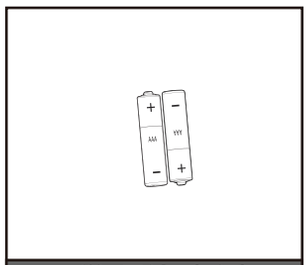
標準アクセサリー



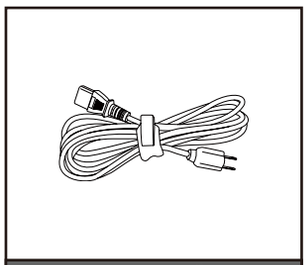
プロジェクター



リモコン



単4電池（2個）



電源ケーブル

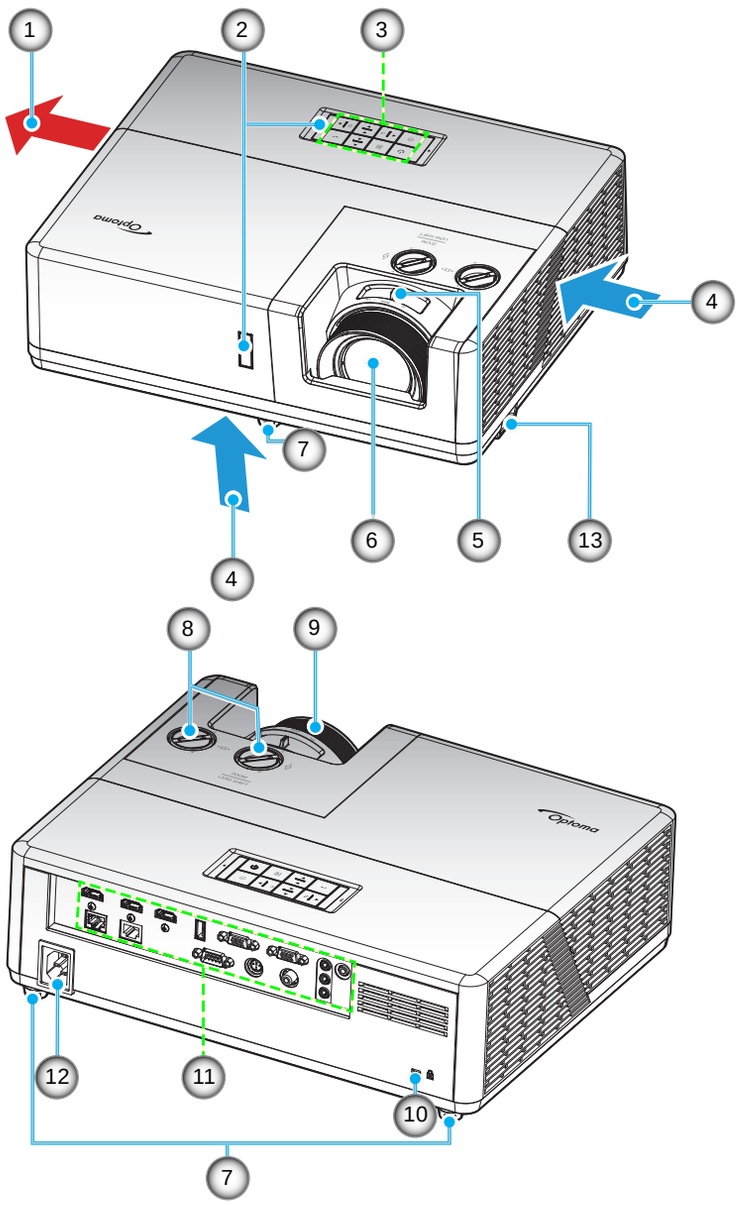
取扱注意書
（QRコード）

文書

はじめに

製品の各部名称

WUXGA 1.6 倍レンズモデル



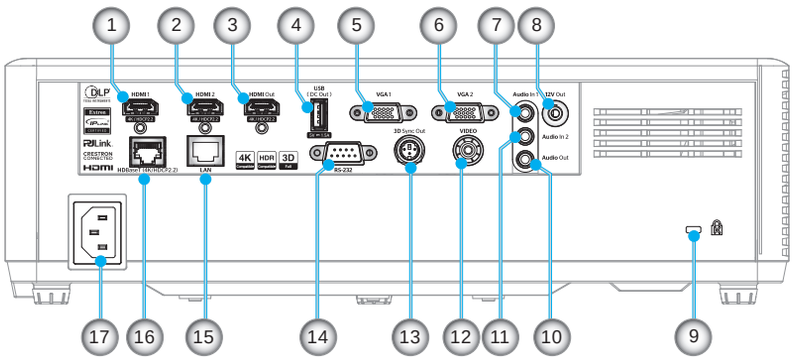
注:

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (排気口)	8.	レンズシフトダイアル
2.	赤外線レシーバー	9.	フォーカス リング
3.	キーパッド	10.	Kensington™ ロックポート
4.	換気 (吸気口)	11.	入/出力
5.	ズームレバー	12.	AC 入力
6.	レンズ	13.	セキュリティ ーバー
7.	チルト調整フット		

はじめに

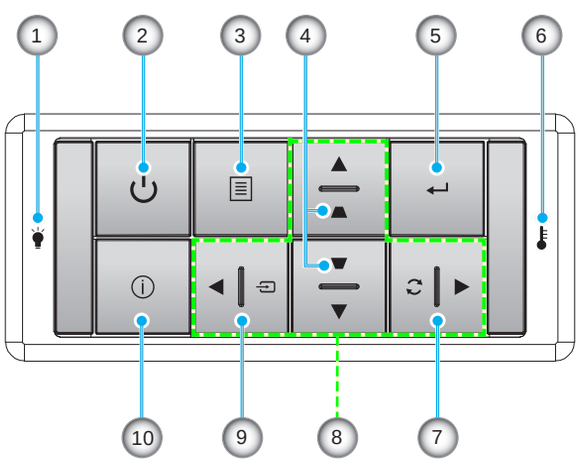
接続



番号	項目
1.	HDMI 1 入力　(V 2.0)
2.	HDMI 2 入力　(V2.0)
3.	HDMI 出力
4.	USB 給電出力 (5V -1.5A) 端子
5.	VGA 1 入力
6.	VGA 2 入力
7.	オーディオ入力 1
8.	12V 出力トリガー
9.	Kensington™ ロック ポート

番号	項目
10.	オーディオ出力
11.	オーディオ入力 2
12.	ビデオ入力
13.	3D 同期出力
14.	RS232
15.	LAN
16.	HDBaseT (4K/HDCP2.2)
17.	AC 入力

キーパッド

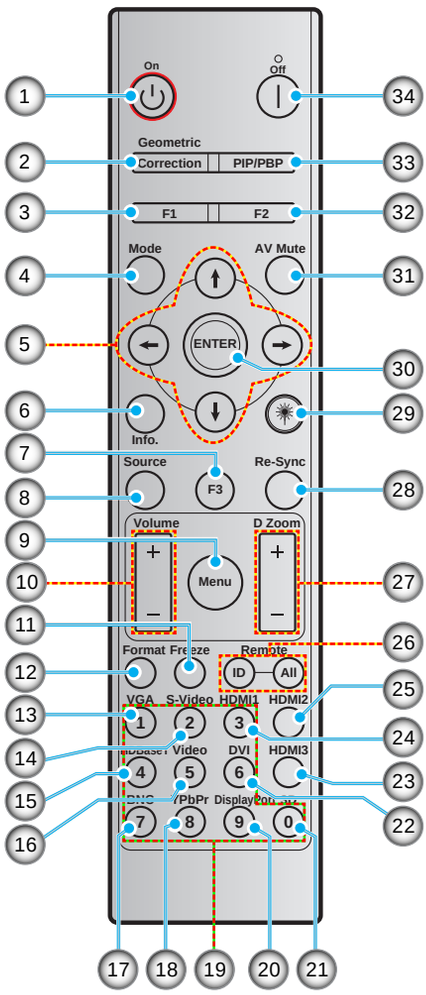


番号	項目
1.	LD LED
2.	電源および消費電力 LED
3.	メニュー
4.	キーストン補正
5.	入力

番号	項目
6.	温度 LED
7.	再同期
8.	4 方向選択キー
9.	ソース
10.	情報

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン	18.	YPbPr (未サポート)
2.	ジオメトリ補正	19.	テンキー (0-9)
3.	ファンクションボタン (F1) (割り当て可能)	20.	DisplayPort (未サポート)
4.	モード	21.	3D
5.	4 方向選択キー	22.	DVI (未サポート)
6.	情報	23.	HDMI3 (未サポート)
7.	ファンクションボタン (F3) (割り当て可能)	24.	HDMI1
8.	ソース	25.	HDMI2
9.	メニュー	26.	リモート ID / リモートALL
10.	音量 +/-	27.	デジタルズーム - / +
11.	フリーズ	28.	再同期
12.	フォーマット (アスペクト比)	29.	レーザーポインター
13.	VGA	30.	入力
14.	S-ビデオ (未サポート)	31.	AV 消音
15.	HDBase-T	32.	ファンクションボタン (F2) (割り当て可能)
16.	ビデオ	33.	PIP/PBP (未サポート)
17.	BNC (未サポート)	34.	電源オフ

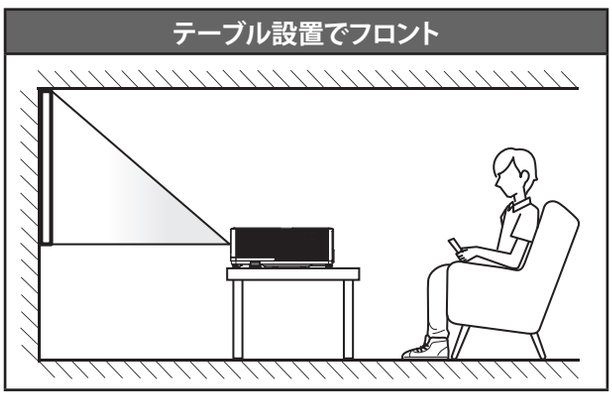
注: *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*

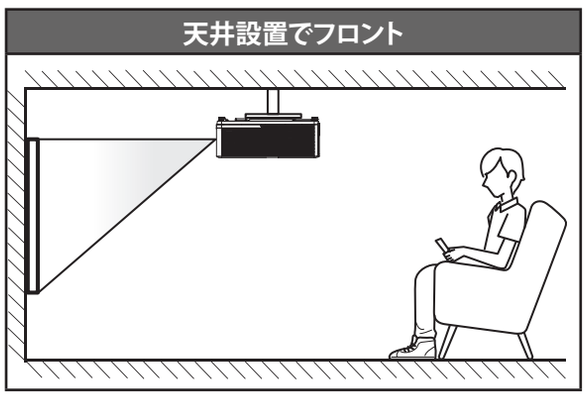
設定と設置

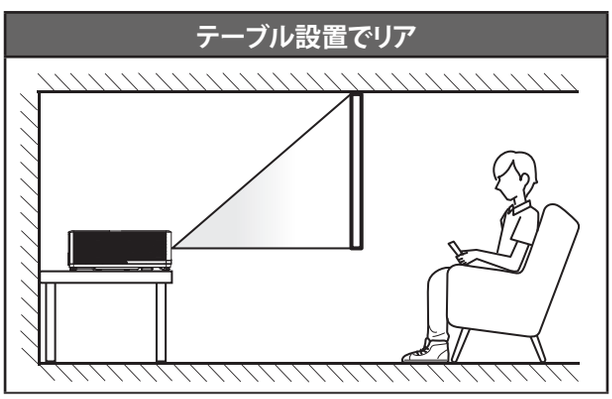
プロジェクターの設置

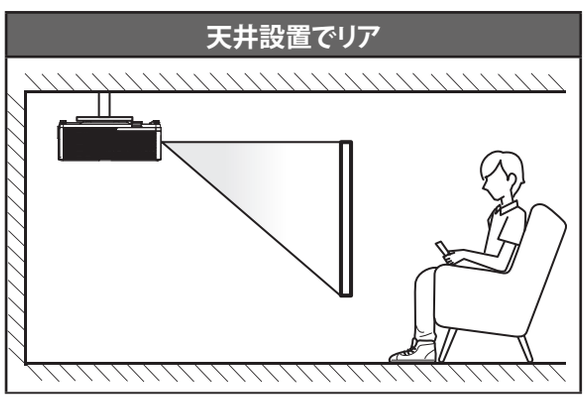
このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

お部屋のレイアウトやお好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンのサイズと場所、適切なコンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮してください。

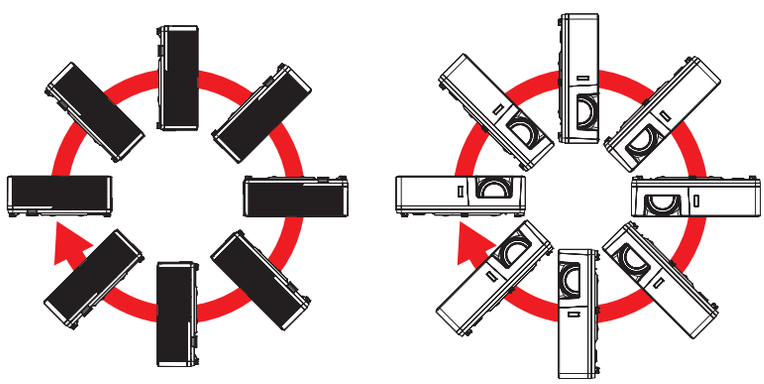








- 360° の自由方向操作



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直になるようにします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*62*ページの投距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*62* ページの投写距離表を参照してください。

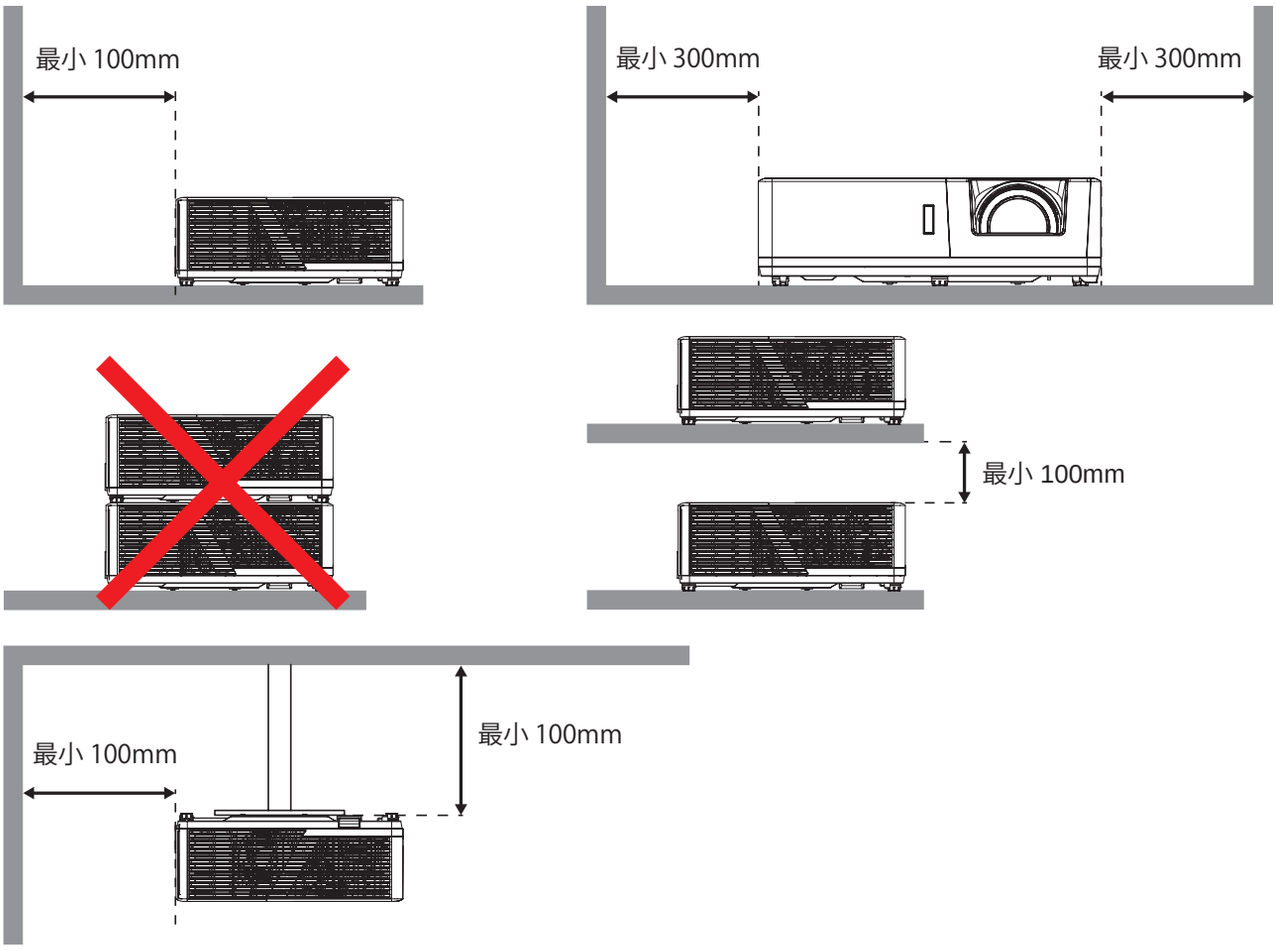
注: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 吸排気口の周囲に少なくとも30cmのスペースを確保してください。

プロジェクター設置の注意



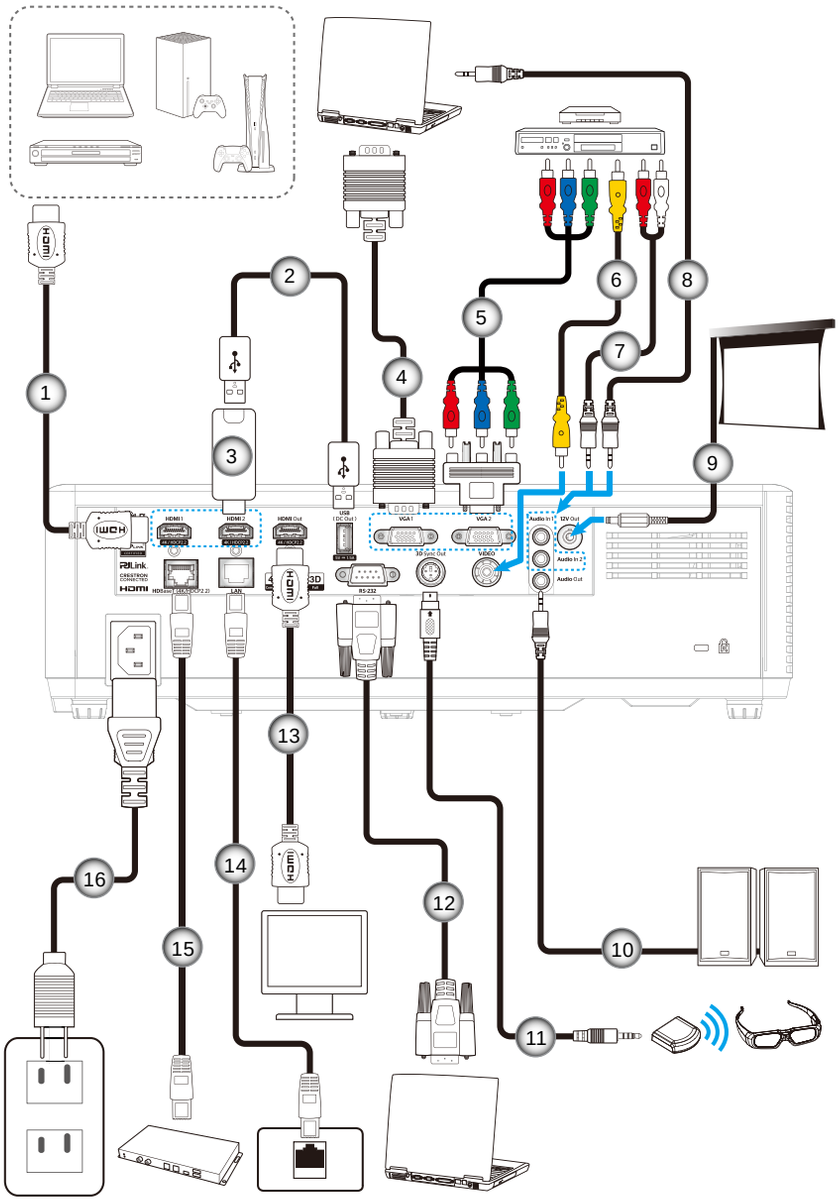
- 吸気口が排気口からの空気を吸わないよう確認してください。
- プロジェクターをエンクロージャー内で動作させる場合、プロジェクター動作中のエンクロージャー内温度が動作温度を超えないこと、給排気口が塞がれないことを確認してください。
- 全てのエンクロージャーは放熱条件を満たして、排気が循環しないようにします。これが満たされないとエンクロ ージャーの温度が動作温度範囲内でも装置がシャットダウンする可能性があります。
- ほこりが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によっては、ほこりが吸気口付近にたまることがあります。
- それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル	9.	12V DC ジャック
2.	USB 電源ケーブル	10.	スピーカーケーブル
3.	HDMI ドングル	11.	3D エミッターケーブル
4.	VGA ケーブル	12.	RS232 ケーブル
5.	RCA コンポーネントケーブル	13.	HDMI ケーブル
6.	ビデオケーブル	14.	RJ-45 ケーブル
7.	オーディオ入力ケーブル	15.	RJ-45 ケーブル
8.	オーディオ入力ケーブル	16.	電源コード

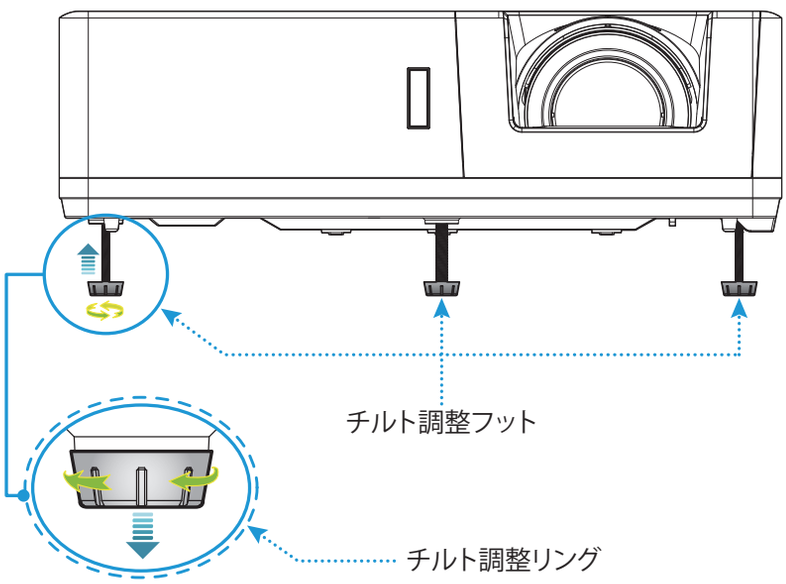
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

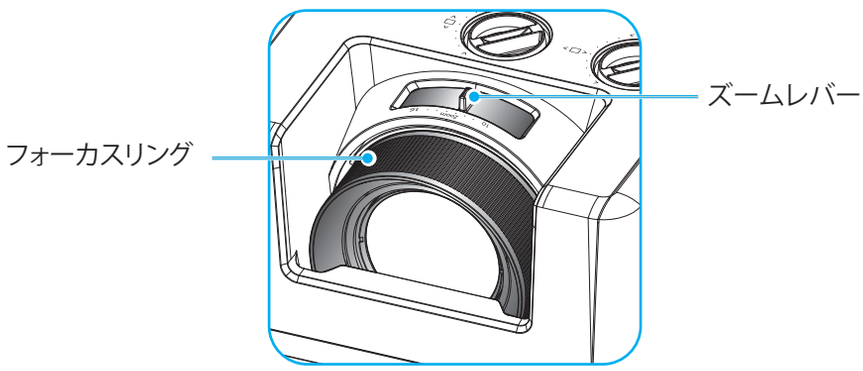
1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを確認してください。
2. 調整フットを時計方向または反時計方向に回して、プロジェクターを上げ下げします。



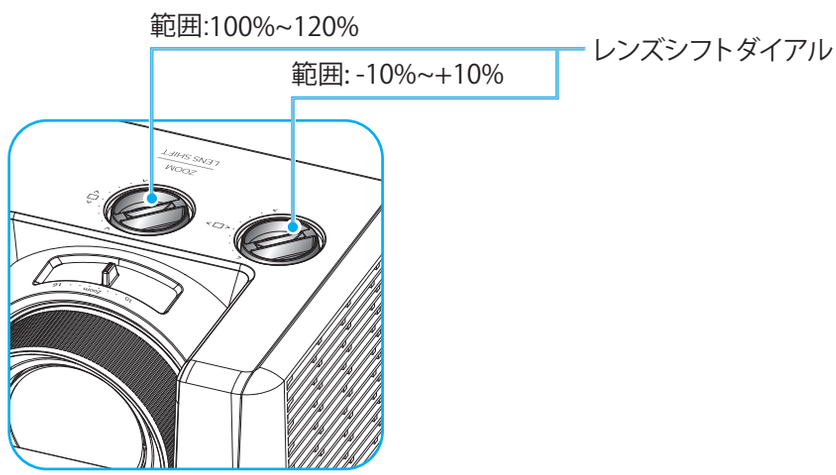
設定と設置

プロジェクターのフォーカス調整

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像を大きくまたは小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



- 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイアルを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の位置を水平方向または垂直方向に調整します。



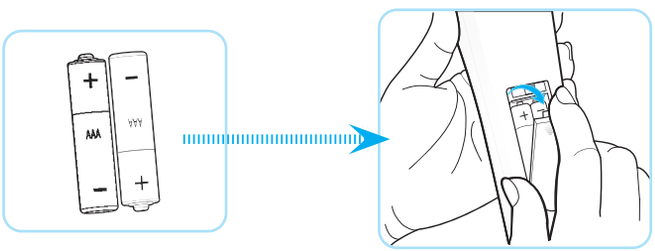
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/ 交換

リモコン用に単4電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに収めます。
3. リモコンのカバーを元に戻します。



注： *交換には、同一または同等のタイプの電池のみをご利用ください。*

注意： 電池の不適切な使用により、液漏れや破裂が生じる可能性があります。以下の手順に従ってください。

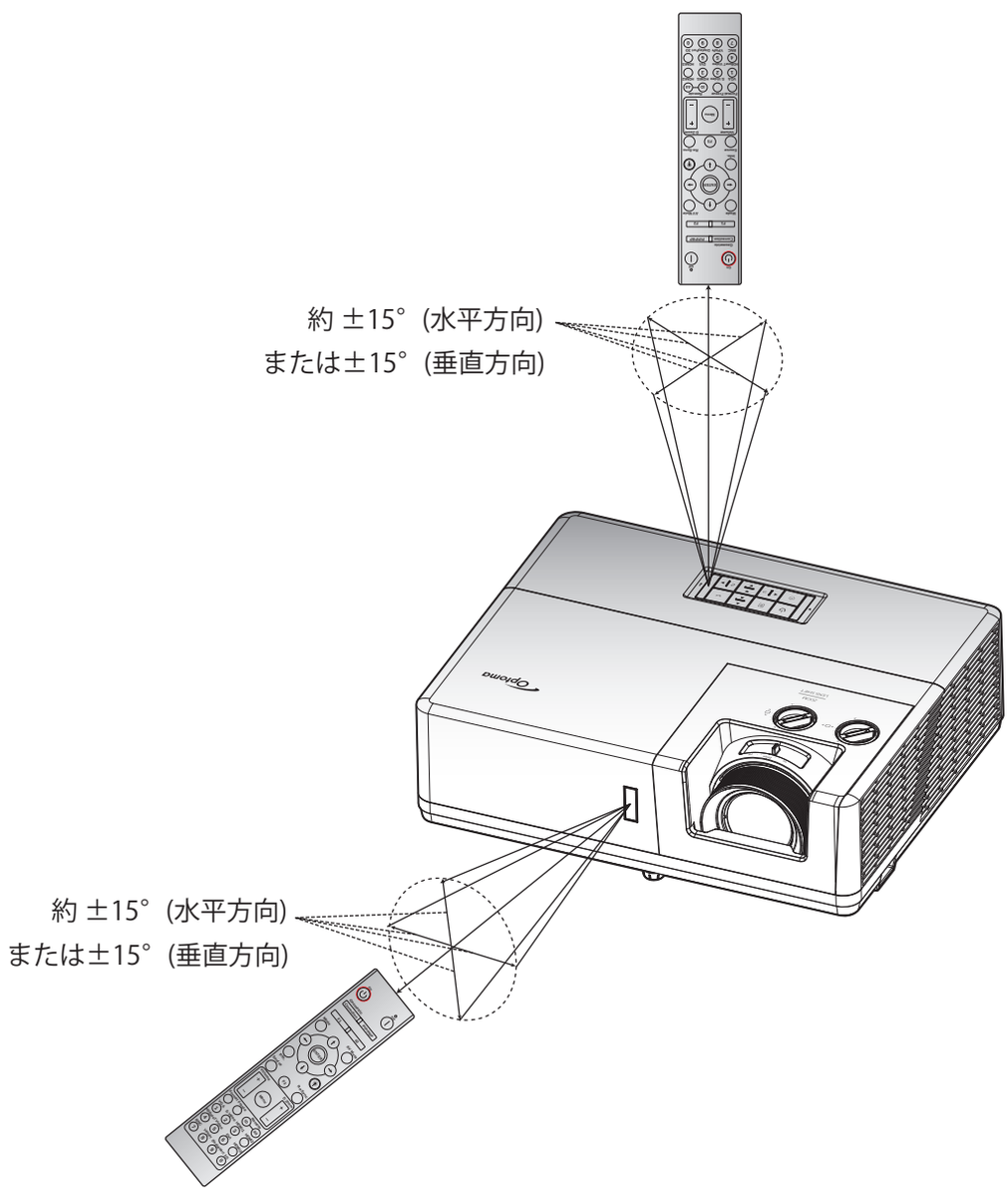
- 異なる種類の電池を混ぜないでください。電池の種類によって特性が異なります。
- 新しい電池を古い電池と混ぜないでください。新旧を混合すると、新しい電池の寿命を縮めたり、古い電池の液漏れが生じたりします。
- 使用済みの電池は早めに取り外してください。電池からの溶液は皮膚に触れると発疹を起こす可能性があります。液漏れを発見した場合は、布で完全に拭き取ってください。
- 当製品に付属の電池は、保存状況によっては寿命が短い場合があります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、電池を外してください。
- 電池を廃棄する際は、お住まいの地域や国の関連法規に従ってください。

設定と設置

有効範囲

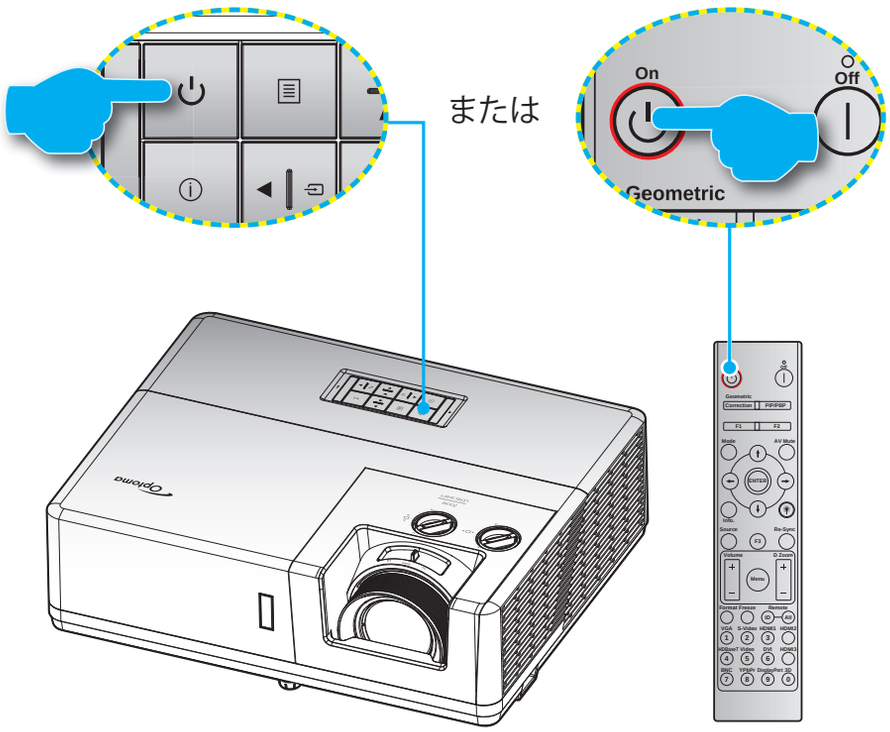
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度（水平）以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、±15° の角度で保持する場合は 6メートル以内、センサーを 0° で向ける場合は 8 メートル以内にしてください。

- 赤外線ビームが届かなくなるので、リモコンと IR センサーの間には障害物がないようにしてください。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2m以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンをスクリーンに向けるときは、スクリーンまでの有効距離が 5 m以内であれば、反射した IR ビームがプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって異なります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



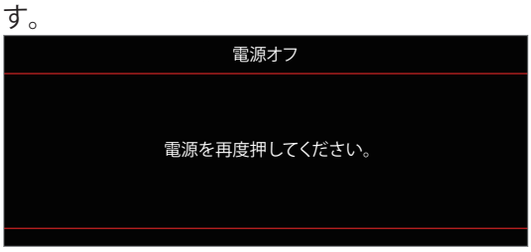
パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、電源 LED が青色に点滅します。

注: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するように求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



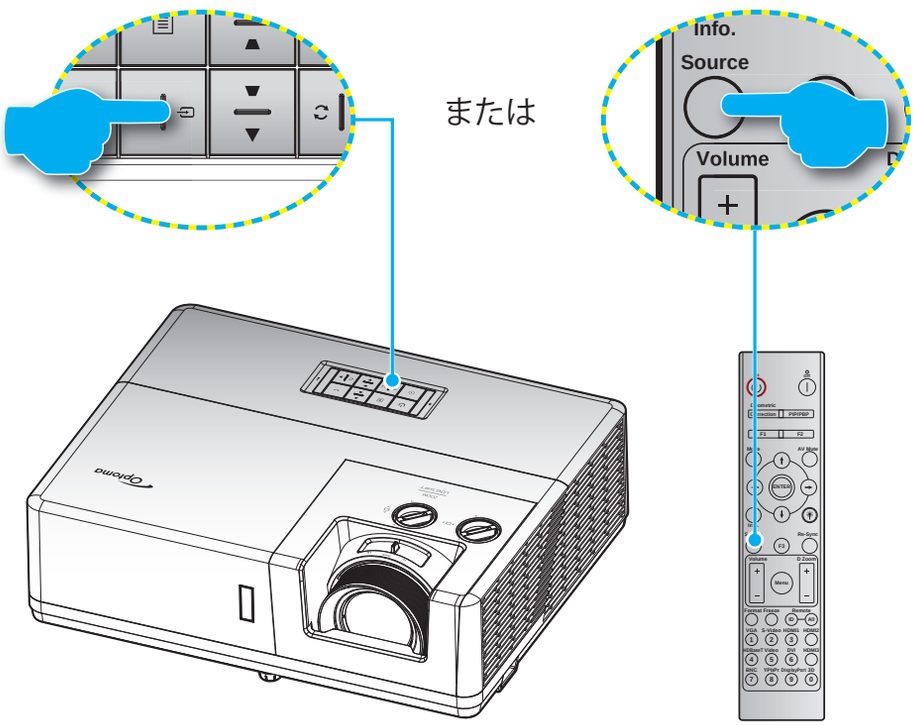
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、電源 LED が青色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターキーパッドの [⇥] ボタンまたはリモコンの [Source] ボタンを押し、入力を選択します。

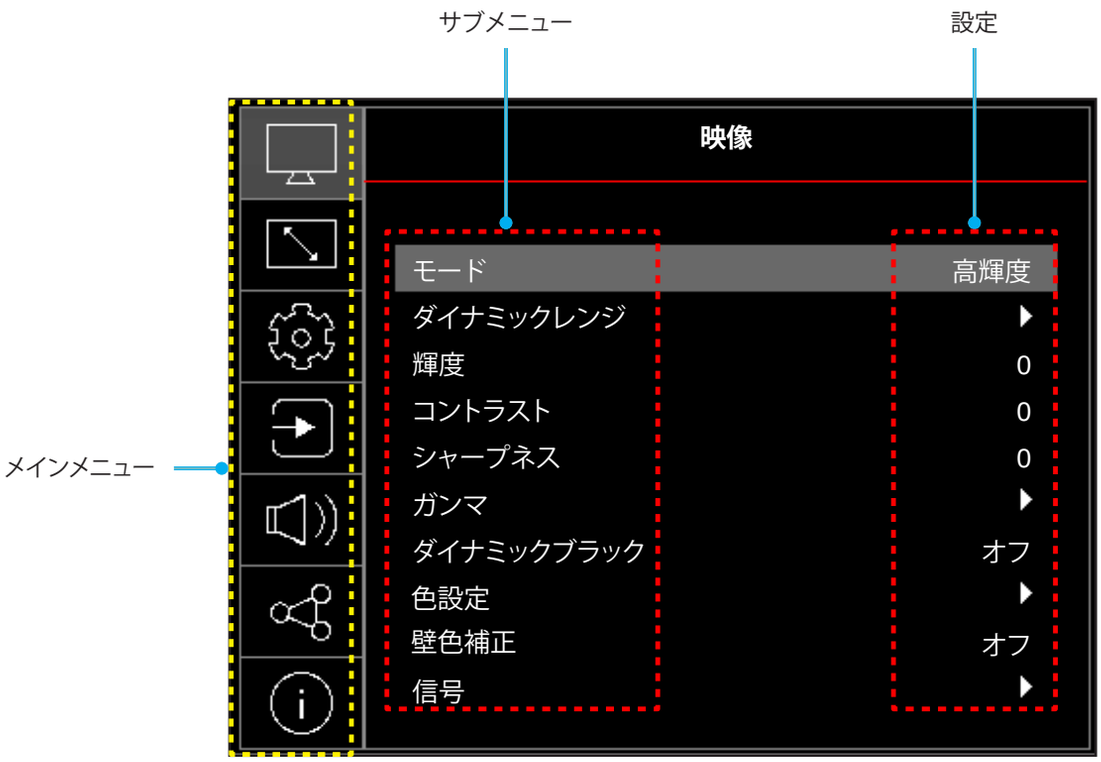


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、プロジェクターキーパッドの [☰] ボタンを押すか、リモコンの [**Menu**] ボタンを押します。
2. OSDメニュー が表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択するとき、プロジェクターキーパッドの [↵] ボタンを押すか、リモコンの [**ENTER**] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. ◀▶キーをつかって、サブメニューで希望のアイテムを選択し、[↵] または [**ENTER**] ボタンを押して、詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [↵] または **[ENTER]** ボタンを押して確定すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [☰] または[**Menu**] ボタンを押します。OSDメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
映像	モード				ビビット
					HDR [HDMI 2.0 モデルの場合]
					HLG [HDMI 2.0 モデルの場合]
					シネマ
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					DICOM SIM.
					3D
	ダイナミックレンジ [HDMI 2.0 モデルの場合]	HDR/HLG			自動 [デフォルト]
					オフ
		HDR / HLG ピクチャーモード			高輝度
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					詳細
	輝度				-50 ~ 50
	コントラスト				-50 ~ 50
	シャープネス				1 ~ 15
	ガンマ				フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
	ダイナミックブラック				オフ [デフォルト]
					オン
	色設定	色の濃さ			-50 ~ 50
		色あい			-50 ~ 50
		BrilliantColor™			1 ~ 10
		色温度			Warm
					標準 [デフォルト]
					クール
					Cold
		CMS	色の濃さ		赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白
			色あい		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			Luminance		-50 ~ 50
			リセット		いいえ
					はい

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
映像	色設定	カラースペース			自動
					RGB (0-255) / RGB (16-235)
					YUV
				HDMI 入力なし	自動 / RGB / YUV
		IRE			0
					7.5
	壁色補正				オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
	信号	自動			オフ
					オン
		周波数			-50 ～ 50 (信号に依存)
		位相			0 ～ 31 (信号に依存)
		水平位置			-50 ～ 50 (信号に依存)
		垂直位置			-50 ～ 50 (信号に依存)
	3D	3D モード			オフ [デフォルト]
					オン
		3D 同期タイプ			DLP リンク
					3D 同期
		3D-2D 変換			3D
					左
					右
		3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
					フレームパッキング
		3D 同期反転			オフ
					オン
		リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
ディスプレー	ブライトモード				エコ [デフォルト]
		消費電力			100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%
	ゲーミングモード				オフ [デフォルト]
					オン
	アスペクト				4:3
					16:9
					16:10 [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	アスペクト比				4:3 [アスペクト: 4:3]
					16:9 [アスペクト: 16:9]
					16:10 [アスペクト: 16:10]
					21:9
					32:9
					LBX
					Native
					自動 [デフォルト]
	ジオメトリ補正	自動キーストン			オフ [デフォルト]
					オン
		垂直キーストン			-30 ~ 30
		水平キーストン			-30 ~ 30
		4 コーナー調整			
		リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	エッジマスク				0 ~ 10
	デジタルズーム	ズーム			-20 ~ 50
	映像移動調整	水平			-100 ~ 100
		垂直			-100 ~ 100
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
Device Setup (設定)	テストパターン				オフ[デフォルト]
					緑色のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白色グリッド
					白
	設置モード				フロント
					背面
					天吊り - トップ
					背面 - 上部
	言語				English
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk
					Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
Device Setup (設定)	言語				日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عـربي
					ไทย
					Türkçe
					فارسـی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
	メニュー設定	メニュー位置			左上
					右上
					中央
					左下
					右下
		メニュータイマー			オフ [デフォルト]
					5 秒
					10 秒
					20 秒
					30 秒
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
	高地モード				オフ [デフォルト]
					オン
	フィルター設定	エアフィルタ使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ取付			いいえ [デフォルト]
					はい
		エアフィルタ寿命			オフ [デフォルト]
					300 時間
					500 時間
					800 時間
					1000 時間
		エアフィルタ使用時間リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ (分)			0、2 ～ 180 (1 分の増分)
		スリープタイマー (分)			0 ～ 990 (30 分の増分)

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
Device Setup (設定)	電源設定	電源モード (スタンバイ)			アクティブ
					エコ
					通信
		USB給電（待機モード）			オフ [デフォルト]
					オン
		12V トリガー			オフ [デフォルト]
					オン
	セキュリティ	セキュリティ			オフ [デフォルト]
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワード変更			
	本体キー設定	キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
	起動画面				デフォルト
					ロゴ無し
					カスタム
	背景色				なし [デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	クローズドキャプション				CC1
					CC2
					オフ [デフォルト]
	デバイスリセット	OSD をリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
		すべての設定をリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
Input Settings (入力)	オートソース				オフ[デフォルト]
					オン
	Rename Input Source (入力ソース)	HDMI 1 / HDMI 2 / VGA 1 / VGA 2 / Video / HDBaseT			デフォルト
					カスタム
	Input Hide (入力名)	HDMI 1 / HDMI 2 / VGA 1 / VGA 2 / Video / HDBaseT			いいえ
					はい
	EDID Settings (EDID 設定)	HDMI 1 EDID / HDMI 2 EDID / HDBaseT EDID			1.4
					2.0
	HDMI Out (HDMI 出力)				HDMI 1
					HDMI 2
	HDMI CEC 設定	HDMI Link			オフ [デフォルト]
					オン
		モニター連動			いいえ [デフォルト]
					はい

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
Input Settings (入力)	HDMI CEC 設定	電源オン設定			双方向設定
					プロジェクター→機器
					機器 → プロジェクター
		電源オフ設定			オフ
					オン
	リセット				いいえ
					はい
オーディオ	音量				0 ~ 100
	ミュート				オフ
					オン
	オーディオ出力				自動 [デフォルト]
					内蔵スピーカー
					ラインアウト
	オーディオ入力	HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT			デフォルト
					Audio 1
					Audio 2
		VGA 1 / VGA 2 / Video			Audio 1
					Audio 2
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
コントロール	デバイス ID				0 ~ 99
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン
					フロント
					トップ
					オフ
		リモートコード			0 ~ 99
		F1/ F2/ F3			HDMI 1/ HDMI 2/ テストパターン/ 輝度/ コントラスト/ スリープタイマー/ カラーマッチング/ 色温度/ ガンマ/ 設置モード/ Light Source Mode/ ズーム/ フリーズ (モデルによって異なります)
	LAN	ネットワーク情報			(読み取り専用 接続 / 切断)
		MACアドレス			(読み取り専用)
		DHCP			オフ/オン
		IP アドレス			192.168.0.100
		サブネットマスク			255.255.255.0
		ゲートウェイ			192.168.0.254
		DNS			192.168.0.51.0.0.0.0
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
	コントロール	クレストロン (ポート 41794)			オフ
					オン
		エクストロン (ポート 2023)			オフ
					オン
		PJ リンク (ポート 4352)			オフ
					オン
		AMX デバイス検出 (ポート 9131)			オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
コントロール	コントロール	Telnet (ポート 23)			オフ
					オン
		HTTP (ポート 80)			オフ
					オン
	HDBaseT コントロール	イーサーネット			オフ
					オン
		RS232			オフ
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
情報	制御				
	シリアル番号				
	Source Info.				ソース
					解像度 (00x00)
					リフレッシュレート(0.00Hz)
	モード				
	カラー情報				Color Bit Depth
					色域
					カラースペース
	電源モード (スタンバイ)				アクティブ
					エコ
	光源時間				
	ブライトモード				
	リモートコード				00 ~ 99
	リモコンコード (アクティブ)				00 ~ 99
	Device ID				00 ~ 99
	IP アドレス				
	ネットワーク情報				
	FW バージョン	DDP			
		MCU			
		LAN			
		HD BaseT			

プロジェクターを使用する

映像メニュー

映像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- モード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- ダイナミックブラック
- 色設定
- 壁色補正
- 信号
- 3D

モード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **ビビット**：このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **HDR /HLG**： ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ) 。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLGは、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ**：映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム**：ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
- **リファレンス：**このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します
- **ブライト**： このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **DICOM SIM.**： このモードは、医療訓練中のX線画像および走査画像の閲覧など、グレースケール画像の確認用に開発されました。

  注:** このプロジェクターは、医療診断での使用には適していません。*
- **3D**: 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。

  注:*3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。*

プロジェクターを使用する

ダイナミックレンジ

HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/ Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動**: HDR/HLG 信号を自動検出します。
- **オフ**: HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。

HDR / HLGピクチャーモード

- **高輝度**: このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準**: このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム**: このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細**: 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホームシアター用。
- **グラフィック**: PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4**: 特定の PC/写真ソース用。

ダイナミックブラック

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

色設定

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

Warm、標準、クール、またはColdから色温度を選択します。

CMS

次のオプションを選択します:

- **色の濃さ**: 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色あい**: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度**: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **Luminance**: 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット**: 色調整を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

カラースペース

適切なカラーマトリックスタイプを選択します:

- **カラースペース** (HDMI 入力のみ):以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:
  自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、または YUV。
- **カラースペース** (HDMI 入力なし): 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:
  自動、 RGB、 または YUV。

IRE

ビデオ信号を入力しているとき、IRE 値を調整できます。

注:

- *IRE は NTSC ビデオ形式でのみ利用できます。*
- *IRE はビデオ入力ソースに対してのみ調節できます。*

壁色補正

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。 壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。
オフ、黒板、ライトイエロー、 ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注: *正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。*

信号

信号オプションを調整します。

- **自動**: 信号を自動的に設定します (周波数と位相項目はグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相項目が表示されます。
- **周波数**: ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相**: ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置**: 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置**: 画像の垂直位置を調整します。

注: *このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。*

プロジェクターを使用する

3D ※

注:

- *このプロジェクターは、DLP リンク 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。*
- *ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。*
- *このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。*
- *3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz のみに設定してください。これより低いまたは高いフレームレートはサポートされていません。*
- *最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。*

3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ**: [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン**: [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D 同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLP リンク**: 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期**: IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D-2D 変換

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D**: 3D 信号を表示します。
- **左**: 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **右**: 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド**: 3D 信号を「サイドバイサイド」フォーマットで表示します。
- **トップアンドボトム**: 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング**: 3D 信号を「フレームパッキング」フォーマットで表示します。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **いいえ**: リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい**: 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

※ **日本モデルは3Dに対応していません。**

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投写するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- ブライトモード
- ゲーミングモード
- アスペクト
- アスペクト比
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- デジタルズーム
- 映像移動調整

ブライトモード

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。

ゲーミングモード

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 8.2 ミリ秒 (1080p/120Hz) に低減します。
すべてのジオメトリ設定 (例: キーストン、四隅) は、ゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。
詳細については、以下をご覧ください。

注:

- *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
- *表の値は若干変動する場合があります。*

ソースタイミング	ゲーミングモード	出力タイミング	出力解像度	入力遅延
1080p60 Hz	オン	1080p60 Hz	1080p	16.2 ミリ秒
1080p120 Hz	オン	1080p120 Hz	1080p	8.2 ミリ秒
4K60 Hz	オン	1080p60 Hz	1080p	16.2 ミリ秒
1080p60 Hz	オフ	1080p60 Hz	1080p	49.5 ミリ秒
1080p120 Hz	オフ	1080p120 Hz	1080p	24.9 ミリ秒
4K60 Hz	オフ	1080p60 Hz	1080p	49.5 ミリ秒

アスペクト

画面タイプを 4:3、16:9 および 16:10 から選択します。

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **16:10**: このフォーマットは、16:10 入力ソース用です。
- **21:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 21:9 入力用です。
- **32:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 32:9 入力用です。
- **LBX**: 16:9 ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部 16:9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- **Native**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

プロジェクターを使用する

注:

- *垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴する*

    ことも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます
- *全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います:*
  - a) *画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。*
  - b) *「全画面」形式を選択します。*
  - c) *プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。*

1080p スケーリングテーブル:

16:9 画面	PC	480i/p	576i/p	720p	1080i/p
4:3	1440x1080 にスケーリングします。				
16:9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
Native	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
自動	- 自動フォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920x1080) になります。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 1440x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、画面タイプは 1920x1200 にサイズ変更され、表示する 1920x1080 の領域が切り取られます。				

1080p 自動マッピング規則:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

プロジェクターを使用する

1920x1200 DMD の WUXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16:10):

注:

- *サポートされるスクリーンタイプ 16:10 (1920x1200)、16:9 (1920x1080)。4:3 (1600x1200)。*
- *スクリーンタイプが 16:9 の場合、4:3 フォーマットと 16:10 フォーマットは使用できなくなります。*
- *スクリーンタイプが 16:10 の場合、4:3 フォーマットと 16:9 フォーマットは使用できなくなります。*
- *スクリーンタイプが 4:3 の場合、16:9 フォーマットと 16:10 フォーマットは使用できなくなります。*

16:10 画面	PC	480i/p	576i/p	720p	1080i/p
16:10	1920x1200 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1200 画像を表示します。				
Native	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
自動	- このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:10 (1920x1200) になります。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 1600x1200 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、スクリーンタイプは 1920x1200 にスケーリングされます。				

WUXGA 自動マッピング規則 (スクリーンタイプ 16:10):

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1200
4:3	640	480	1600	1200
	800	600	1600	1200
	1024	768	1600	1200
	1280	1024	1600	1200
	1400	1050	1600	1200
	1600	1200	1600	1200
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1920	1152
	1280	800	1920	1200
SDTV	720	576	1500	1200
	720	480	1800	1200
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

WUXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 16:9):

16:9 画面	PC	480i/p	576i/p	720p	1080i/p
16:9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
Native	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
自動	- このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920x1080) になります。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 1440x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、画面タイプは 1920x1200 にサイズ変更され、表示する 1920x1080 の領域が切り取られます。				

プロジェクターを使用する

WUXGA 自動マッピング規則 (スクリーンタイプ 16:9)：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

WUXGA スケーリングテーブル (スクリーンタイプ 4:3)：

4:3 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p
4:3	1600x1200 にスケーリングします。			
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1200 画像を表示します。			
ネイティブ	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。			
自動	- このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:10 (1920x1200) になります。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 1600x1200 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、スクリーンタイプは 1920x1200 にスケーリングされます。			

WUXGA 自動マッピング規則 (スクリーンタイプ 4:3)：

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1200
4:3	640	480	1600	1200
	800	600	1600	1200
	1024	768	1600	1200
	1280	1024	1600	1200
	1400	1050	1600	1200
	1600	1200	1600	1200
ワイドノート PC	1280	720	1600	900
	1280	768	1600	960
	1280	800	1600	1000
SDTV	720	576	1500	1200
	720	480	1600	1066
HDTV	1280	720	1600	900
	1920	1080	1600	900

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正

自動キーストン

投写している領域に投写画像を合わせるためにキーストンをデジタルで補正します。

注:

- *水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。*
- *自動キーストーンを使用すると、4 コーナー調整機能が無効になります。*

垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

リセット

ジオメトリ補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注: *ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。*

映像移動調整

投影される画像位置を水平 (水平) または垂直 (垂直) に調整します。

リセット

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

Device Setup メニュー (設定メニュー)

プロジェクターの設定方法について説明します。

サブメニュー

- テストパターン
- 設置モード
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- フィルター設定
- 電源設定
- セキュリティ
- 本体キー設定
- 起動画面
- 背景色
- クローズドキャプション
- デバイスリセット

テストパターン

テストパターンを 緑色のグリッド、マゼンタのグリッド、白色グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。　※ 映像入力時は使用できません。

設置モード

フロント、背面、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、 ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語から選択します。

メニュー設定

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モード

「オン」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

フィルター設定

エアフィルタ使用時間

エアフィルター使用時間を表示します。

プロジェクターを使用する

エアフィルタ取付

注: *このオプションフィルターが入手可能であるかどうかについては、お近くの代理店にご相談ください。*
警告メッセージを設定します。

- **はい：** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

注: *「エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット」 は、「エアフィルタ取付」が「はい」のときのみ表示されます。*

- **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。

エアフィルタ寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、オフ、300 時間、500 時間、800 時間、1000 時間 です。

エアフィルタ使用時間リセット

ダストフィルターを交換または洗浄した後、ダストフィルターカウンタをリセットしてください。

電源設定

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると 自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注:

- *[信号電源オン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。*
- *この機能は HDMI ソースに適用されます。*

タイマー電源オートパワーオフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます 。
(単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。
(単位は分です)。

注: *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*

電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:** [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ:** [エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

USB給電（待機モード）

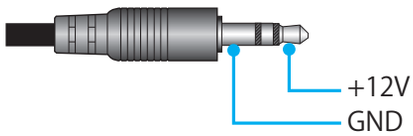
USB 給電機能を有効または無効にします。

12V トリガー

この機能を使って、トリガーを有効または無効にします。

プロジェクターを使用する

注: *リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。*



- **オン**: 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ**: 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

セキュリティ

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

注: *デフォルトのパスワードは「1234」です。*

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

本体キー設定

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

起動画面

この機能を使って希望の起動画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し：** ロゴは起動画面に表示されません。
- **カスタム:** ユーザーがカスタマイズしたロゴ。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注: *背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。*

クローズドキャプション

[クローズドキャプション] はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。
入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。
利用可能オプションは、[オフ]、[CC1]、および[CC2] です。

デバイスリセット

OSD をリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

Input Settings メニュー (入力メニュー)

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- オートソース
- Rename Input Source
- Input Hide
- EDID Settings
- HDMI Out
- HDMI CEC 設定

オートソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

Rename Input Source (入力ソース)

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、HDMI1、HDMI2、VGA 1、VGA 2、Video、HDBaseT が含まれます。

Input Hide (入力名)

入力ソースメニューから非表示にする入力オプションを選択します。利用可能なオプションには、HDMI1、HDMI2、VGA 1、VGA 2、ビデオ、HDBaseT が含まれます。

EDID Settings (EDID設定)

EDID の互換性を設定します。

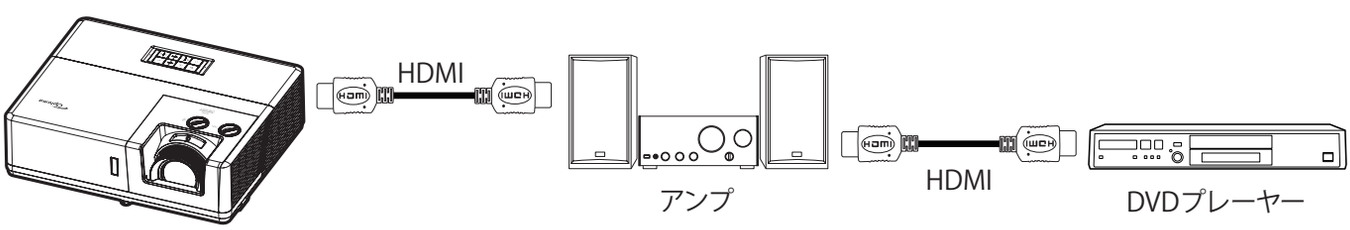
- **HDMI 1 EDID /HDMI 2 EDID**: HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。
- **HDBaseT EDID**: HDBaseT 経由で HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるように プロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。

HDMI Out (HDMI出力)

信号を出力する HDMI ポートを選択します。

HDMI CEC 設定

注: *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

モニター連動

設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

プロジェクターを使用する

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクタ→機器:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **機器→プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

リセット

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

※ HDMI Linkがオンの場合のみモニター連動、電源オン設定、電源オフ設定の使用が可能となります。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオ設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- 音量
- ミュート
- オーディオ出力
- オーディオ入力

音量

音量レベルを調整します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注: *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

オーディオ出力

音声出力を 内蔵スピーカー と ライン出力 の間で選択します。

オーディオ入力

適切な音声入力ソースを選択します。

- **HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT:** 利用可能なオプションには、オーディオ 1、オーディオ 2、デフォルトが含まれます。
- **VGA 1 / VGA 2 / ビデオ:** 利用可能なオプションには、オーディオ 1 と オーディオ 2 が含まれます。

リセット

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- デバイス ID
- リモコン設定
- LAN
- コントロール
- HDBaseTコントロール

補足情報

- Webコントロールパネルの使用
- TelnetによるRS232コマンドの使用

デバイス ID

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

注: *RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。*

リモコン設定

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** 「オン」を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **フロント:** [オン] を選択すると、前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **トップ:** 「オン」を選択すると、上部の IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できるようになります。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

リモートコード

リモート ID ボタンを 3 秒間押して、リモートカスタムコードを設定すると、リモートインジケーター (オフボタンの上) が点滅し始めます。次に、キーボードの数字キーを使用して 00 ～ 99 の数字を入力します。
数字を挿入すると、リモートインジケーターが 2 回すばやく点滅し、リモートコードが変更されたことを示します。

F1 / F2 / F3

リモコンの「F1」「F2」「F3」ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。利用可能な機能は、HDMI 1、HDMI 2、テストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、CMS、色温度、ガンマ、設置モード、光源モード、ズーム、または フリーズ です。

LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MACアドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS が自動的に取得されます。

プロジェクターを使用する

IP アドレス
プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク
プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ
プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS
プロジェクターの DNS を割り当てます。

リセット
ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、 プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。 コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン
Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 41794)
詳細については、http://www.crestron.com にアクセスしてください。

エクストロン
Extron デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート: 2023)
詳細については、http://www.extron.com にアクセスしてください。

PJ リンク
PJリンク v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。(ポート: 4352)
詳細については、http://pjlink.jbmia.or.jp/english にアクセスしてください。

AMX デバイス検出
AMX デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート: 9131)
詳細については、http://www.amx.com にアクセスしてください。

Telnet
Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 23)
詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(58 ページ) を参照してください。

HTTP
Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 80)
詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法」(51 ページ) を参照してください。

注:

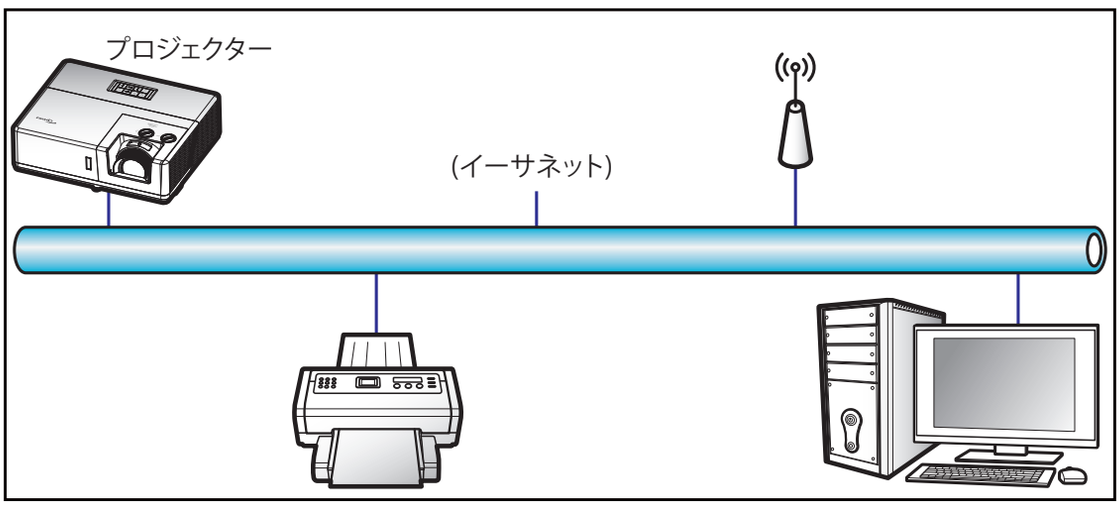
- *Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。*
- *PJリンクは JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。*
- *LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。*

プロジェクターを使用する

ネットワーク制御のセットアップ

LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。
プロジェクターのLAN/RJ45機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターステータス情報も表示できます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJリンク を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJリンク は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは、PJリンク Class 2 のすべてのコマンドをサポートしています。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法

1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン]にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します（「コントロール > LAN > IP アドレス」）。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注:

- *既定のユーザー名とパスワードは「admin」です。*
- *このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。*

コンピューターからプロジェクターに直接接続しているとき*

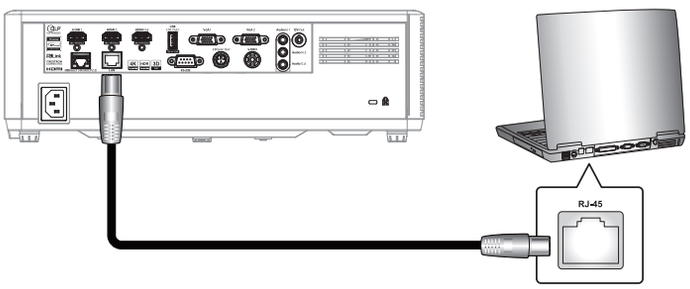
1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します（[コントロール > LAN]）。
3. PC の [*ネットワークとインターネット*] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。

4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

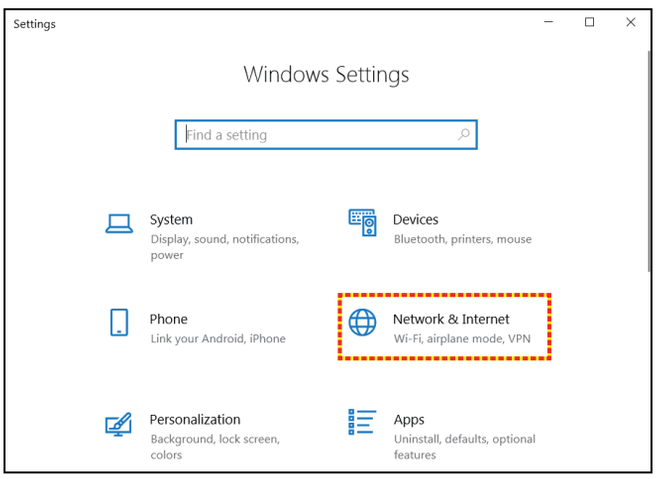
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

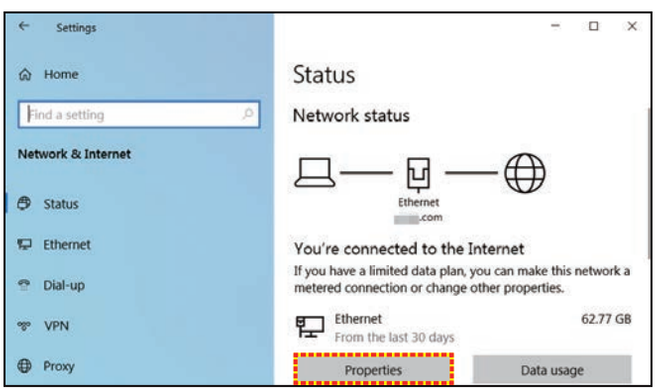
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



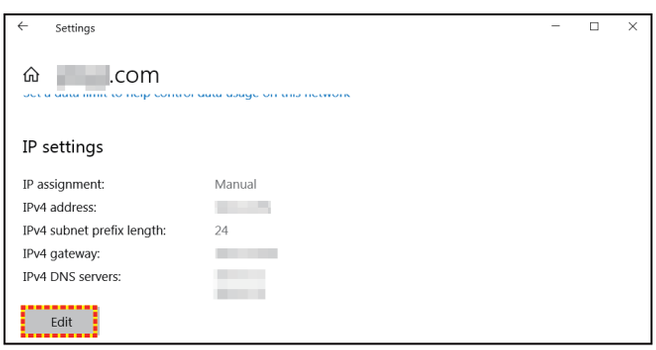
2. PC (ラップトップ) で、**[スタート]** > **[設定]** > **[ネットワークとインターネット]** を選択します。



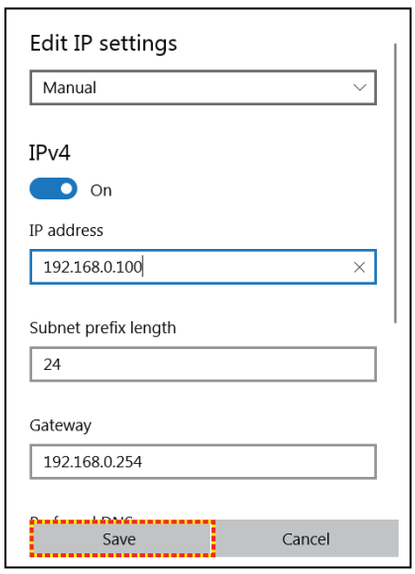
3. **[イーサネット]** セクションで、**[プロパティ]** を選択します。



4. **[IP 設定]** セクションで、**[編集]** を選択します。



5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターで **コントロール** > **LAN** の順に開きます。
8. 次の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP: オフ
   - IP アドレス: 192.168.0.100
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 192.168.0.254
   - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押し、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
11. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。192.168.0.100。

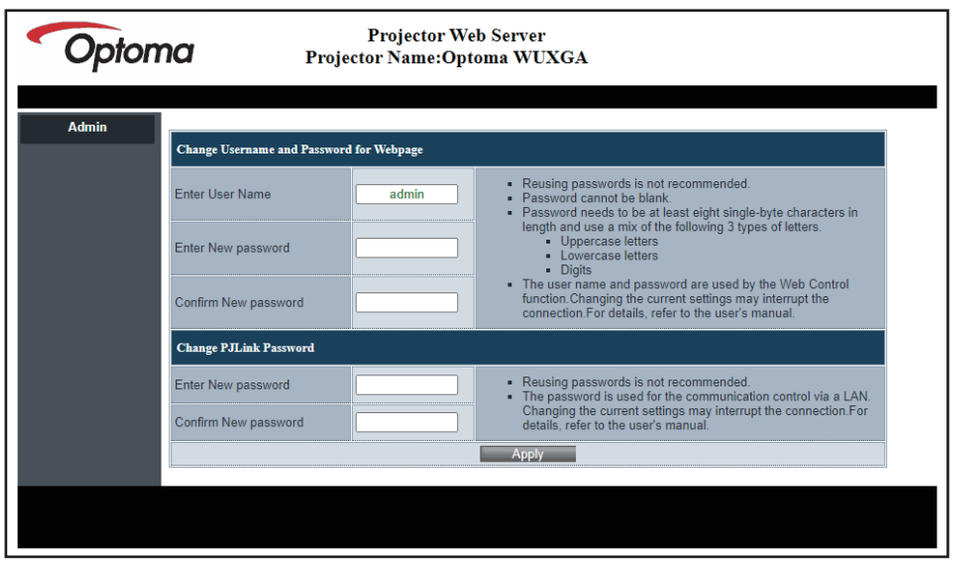
12. [Enter] を押します。

プロジェクターを使用する

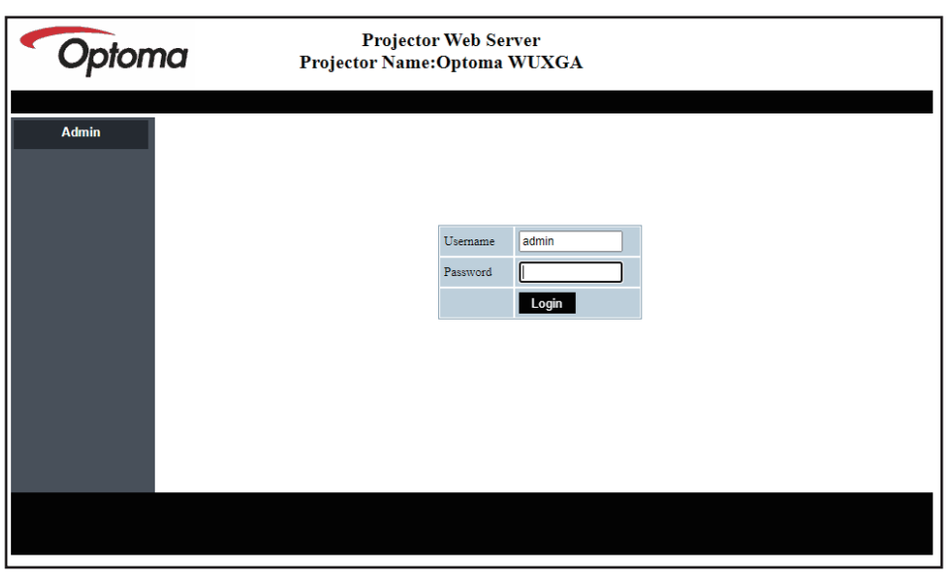
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
有効なユーザーパスワードを入力してください。

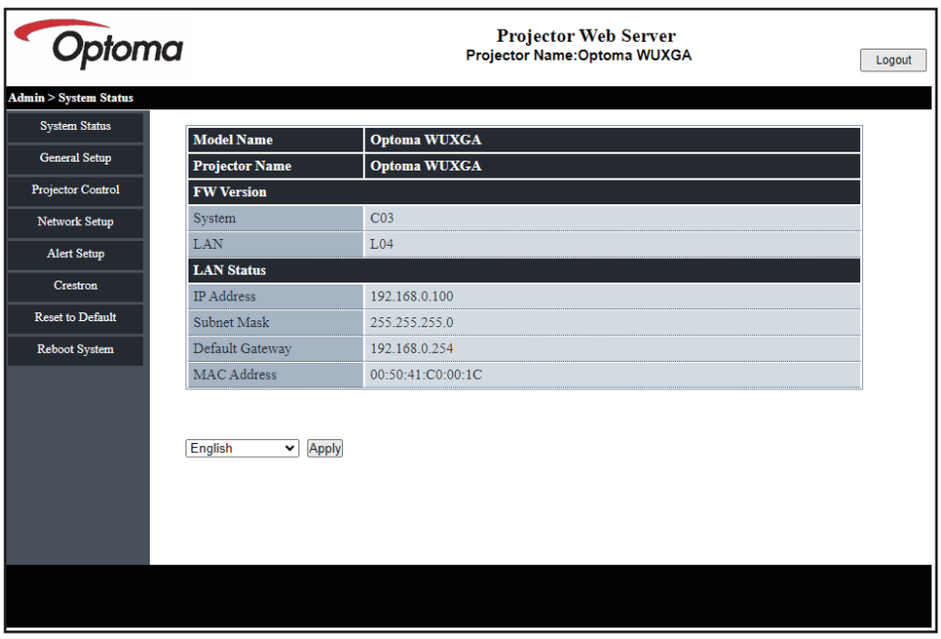


有効なパスワードを入力して Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。



システムステータス

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアのバージョン、現在の LAN 構成を確認し、必要に応じてインターフェイス言語を変更できます。
図中の Web ページに表示されるバージョン名は、実際の表示と異なる場合があります。

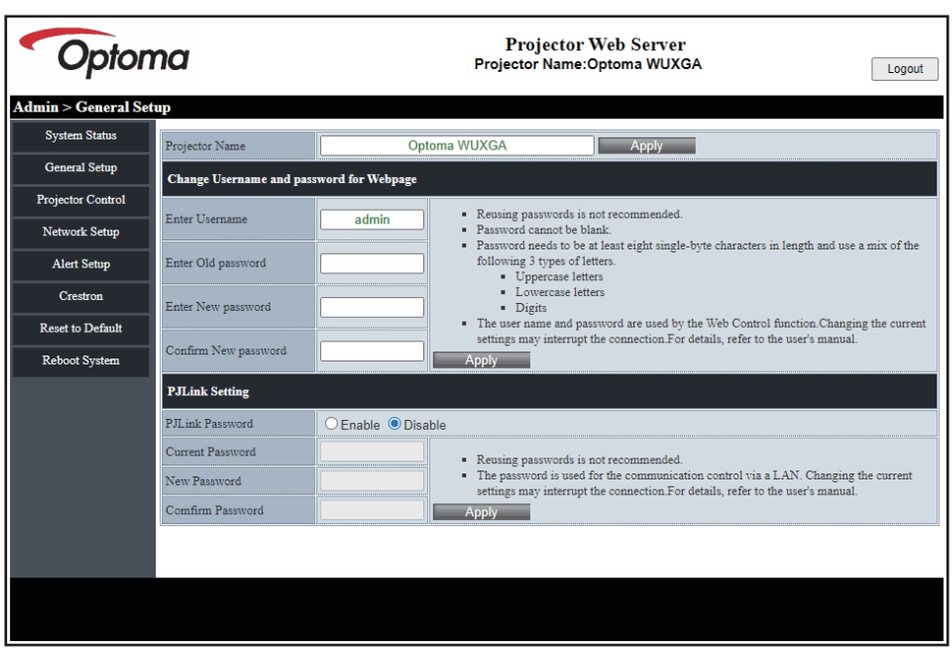


一般設定

ここで設定したプロジェクター名は PJLink 制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

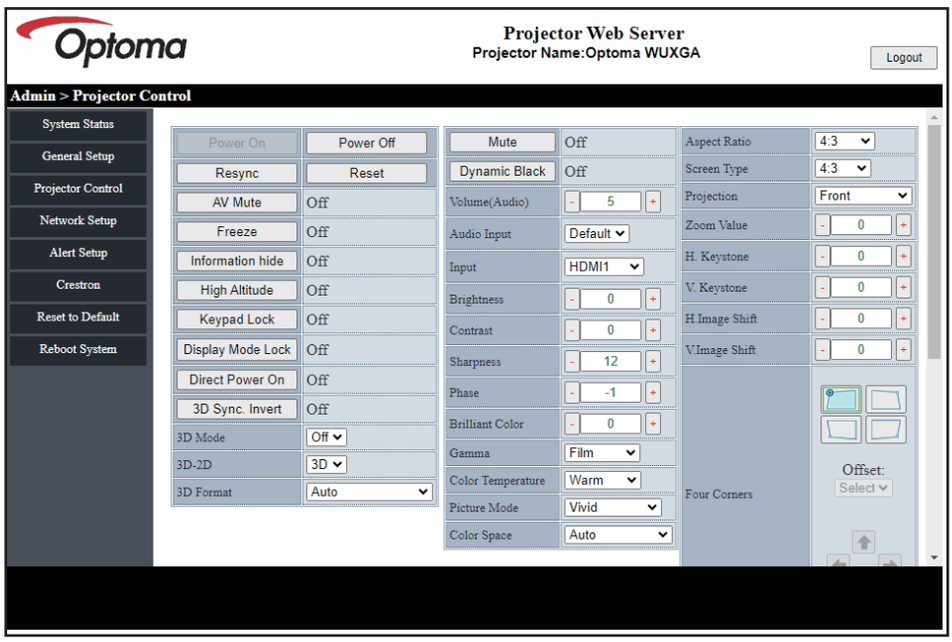


プロジェクターを使用する

プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

コントロールボタン: ボタンをクリックすると、対応する機能が実行されます。



ネットワーク設定

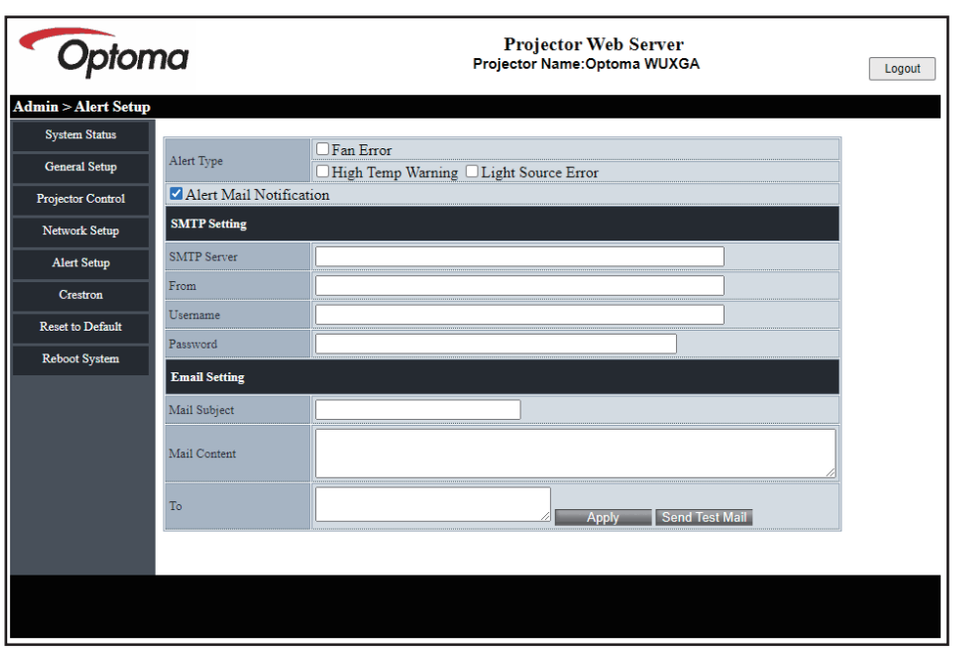
プロジェクターのネットワークを設定します。

アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
   - SMTP 設定: 以下を設定します。
     a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
     b) From: 送信者のメールアドレス
     c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
     d) パスワード: メールサーバーのパスワード。
   - メール設定: 以下を設定します。
     a) メールの件名
     b) メールの内容
     c) 宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. [適用] をクリックして値を修正します。
4. *xxx.xxx.xxx.xxx にプロジェクターの IP アドレスを入力します。
5. テストメールを送信します。

   [テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx.xxx *」になります。



プロジェクターを使用する

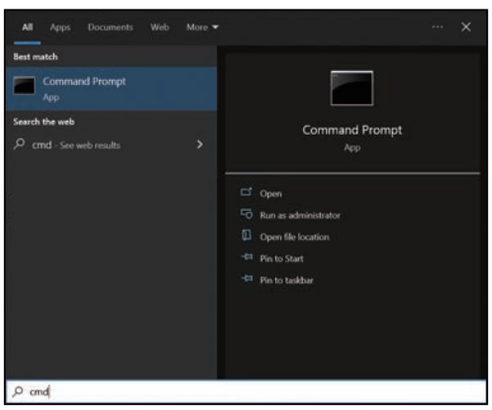
[RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクターには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による RS232 コマンド制御があります。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
- PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。

1. **[検索]** をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
   – telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
   – (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
   – Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。
   – Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
   – Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

プロジェクターを使用する

HDBaseT コントロール

イーサネット / RS232
プロジェクターは、付属の HDBaseT 送信機からのイーサネットまたは RS232 信号を自動的に検出できます。
自動検出を行う場合は、必ず、各信号を有効にしてください。

リセット
コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

情報メニュー

プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

- 制御
- シリアル番号
- Source Info.
- モード
- カラー情報
- 電源モード (スタンバイ)
- 光源時間
- ブライトモード
- リモートコード
- リモコンコード（アクティブ）
- Device ID
- IP アドレス
- ネットワーク情報
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
NTSC	NTSC M / J、3.58 MHz、4.43 MHz
PAL	PAL B / D / G / H / I / M / N、4.43 MHz
SECAM	SECAM B / D / G / K / K1 / L、4.25 / 4.4 MHz
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細：

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
TV (NTSC)	720x480	60	コンポジットビデオの場合
TV (PAL、SECAM)	720x576	50	
SDTV(480I)	720x480	60	コンポーネントの場合
SDTV(480p)	720x480	60	
SDTV(576I)	720x576	50	
SDTV(576p)	720x576	50	
HDTV(720p)	1280x720	50 / 60	
HDTV(1080I)	1920x1080	50 / 60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24 / 50 / 60	

コンピューターの互換性

PC のタイミングテーブル：

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60(*2)/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60(*2)/70/75/120(*2)	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280x720	60(*2)/120(*2)	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
WXGA(*3)	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
WUXGA	1920x1200(*1)	60	Mac 60

注:

- *(*1) 1920x1200 @60Hz は RB (縮小ブランキング) のみをサポートします。*
- *(*2) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミング。*
- *(*3) Windows 8 標準タイミング。*

追加情報

HDMI の入力信号:

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60(*2)/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60(*2)/70/75/120(*2)	Mac 60/70/75
SDTV(480p)	720x480	60	
SDTV(576p)	720x576	50	
HDTV(720p)	1280x720	60(*2)/120(*2)	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
	1440x900	60	
WXGA(*3)	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
HDTV(1080I)	1920x1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24 /25 /30 /50 /60 /120	Mac 60
WUXGA	1920x1200(*1)	60	Mac 60
UHD(2160p)	3840x2160	24/25/30/50/60	
	4096x2160	24/25/30/50/60	

注:

- *(*1) 1920x1200 @60Hz は RB (縮小ブランキング) のみをサポートします。*
- *(*2) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミング。*
- *(*3) Windows 8 標準タイミング。*

追加情報

True 3D ビデオ互換性

<table>
<tr><td rowspan="19">入力解像度</td><td rowspan="9">HDMI 1.4a 3D 入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280x720p @50 Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280x720p @60 Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280x720p @50 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280x720p @60 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920x1080i @50 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920x1080i @60 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920x1080p @24 Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1920x1080p @24 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="10">HDMI 1.3</td><td>1920x1080i @50 Hz</td><td rowspan="7">サイドバイサイド
(ハーフ)</td><td rowspan="7">サイドバイサイドモードがオン</td></tr>
<tr><td>1920x1080i @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x720p @50 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x720p @60 Hz</td></tr>
<tr><td>800x600 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1024x768 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x800 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1920x1080i @50 Hz</td><td rowspan="7">トップアンドボトム</td><td rowspan="7">TAB モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920x1080i @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x720p @50 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x720p @60 Hz</td></tr>
<tr><td>800x600 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1024x768 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>1280x800 @60 Hz</td></tr>
<tr><td>480i</td><td>HQFS</td><td>3D映像フォーマットが
フレームシーケンシャル</td></tr>
</table>

注:

- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100 Hz で動作します。その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*
- *1080p@24Hz は 144Hz で動作します。*

追加情報

EDID (アナログ)

VGA			
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/詳細タイミング
720x400 @70 Hz	1024x768 @120 Hz	ネーティブタイミング:	1366x768 @60 Hz
640x480 @60 Hz	1280x720 @60 Hz	1920x1200 @60 Hz	1920x1080 @60 Hz
640x480 @67 Hz	1280x720 @120 Hz		
640x480 @72 Hz	1280x800 @60 Hz		
640x480 @75 Hz	1280x1024 @60 Hz		
800x600 @56 Hz	1440x900 @60 Hz		
800x600 @60 Hz	1400x1050 @60 Hz		
800x600 @72 Hz	1600x1200 @60 Hz		
800x600 @75 Hz			
832x624 @75 Hz			
1024x768 @60 Hz			
1024x768 @70 Hz			
1024x768 @75 Hz			
1280x1024 @75 Hz			
1152x870 @75 Hz			

EDID (Digital)

HDMI 1/2 (1.4b 用)				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720x400 @70 Hz	1024x768 @120 Hz	ネーティブタイミング:	640x480p 4:3 @60 Hz	1366x768 @60 Hz
640x480 @60 Hz	1280x720 @60 Hz	1920x1200 @60 Hz	720(1440)x576i 4:3 @50 Hz	1920x1080 @60 Hz
640x480 @67 Hz	1280x720 @120 Hz		720(1440)x576i 16:9 @50 Hz	
640x480 @72 Hz	1280x800 @60 Hz		720(1440)x480i 4:3 @60 Hz	
640x480 @75 Hz	1280x1024 @60 Hz		720(1440)x480i 16:9 @60 Hz	
800x600 @56 Hz	1440x900 @60 Hz		720x576p 4:3 @50 Hz	
800x600 @60 Hz	1400x1050 @60 Hz		720x576p 16:9 @50 Hz	
800x600 @72 Hz	1600x1200 @60 Hz		720x480p 4:3 @60 Hz	
800x600 @75 Hz			720x480p 16:9 @60 Hz	
1024x768 @60 Hz			1280x720p 16:9 @50 Hz	
1024x768 @70 Hz			1280x720p 16:9 @60 Hz	
1024x768 @75 Hz			1920x1080i 16:9 @60 Hz	
1280x1024 @75 Hz			1920x1080i 16:9 @50 Hz	
1152x870 @75 Hz			1920x1080p 16:9 @24 Hz	
832x624 @75 Hz			1920x1080p 16:9 @25 Hz	
			1920x1080p 16:9 @30 Hz	
			1920x1080p 16:9 @50 Hz	
			1920x1080p 16:9 @60 Hz	
			1920x1080p 16:9 @120 Hz	
			3840x2160p 16:9 @24 Hz	
			3840x2160p 16:9 @25 Hz	
			3840x2160p 16:9 @30 Hz	
			4096x2160p 256:135 @24 Hz	
			4096x2160p 256:135 @25 Hz	
			4096x2160p 256:135 @30 Hz	

追加情報

HDMI 1/2 (2.0 用)				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720x400 @70 Hz	1024x768 @120 Hz	ネーティブタイミング:	640x480p 4:3 @60 Hz	1366x768 @60 Hz
640x480 @60 Hz	1280x720 @60 Hz	1920x1200 @60 Hz	720(1440)x576i 4:3 @50 Hz	1920x1080 @60 Hz
640x480 @67 Hz	1280x720 @120 Hz		720(1440)x576i 16:9 @50 Hz	
640x480 @72 Hz	1280x800 @60 Hz		720(1440)x480i 4:3 @60 Hz	
640x480 @75 Hz	1280x1024 @60 Hz		720(1440)x480i 16:9 @60 Hz	
800x600 @56 Hz	1440x900 @60 Hz		720x576p 4:3 @50 Hz	
800x600 @60 Hz	1400x1050 @60 Hz		720x576p 16:9 @50 Hz	
800x600 @72 Hz	1600x1200 @60 Hz		720x480p 4:3 @60 Hz	
800x600 @75 Hz			720x480p 16:9 @60 Hz	
1024x768 @60 Hz			1280x720p 16:9 @50 Hz	
1024x768 @70 Hz			1280x720p 16:9 @60 Hz	
1024x768 @75 Hz			1920x1080i 16:9 @60 Hz	
1280x1024 @75 Hz			1920x1080i 16:9 @50 Hz	
1152x870 @75 Hz			1920x1080p 16:9 @24 Hz	
832x624 @75 Hz			1920x1080p 16:9 @25 Hz	
			1920x1080p 16:9 @30 Hz	
			1920x1080p 16:9 @50 Hz	
			1920x1080p 16:9 @60 Hz	
			1920x1080p 16:9 @120 Hz	
			3840x2160p 16:9 @24 Hz	
			3840x2160p 16:9 @25 Hz	
			3840x2160p 16:9 @30 Hz	
			3840x2160p 16:9 @50 Hz	
			3840x2160p 16:9 @60 Hz	
			4096x2160p 256:135 @24 Hz	
			4096x2160p 256:135 @25 Hz	
			4096x2160p 256:135 @30 Hz	
			4096x2160p 256:135 @50 Hz	
			4096x2160p 256:135 @60 Hz	

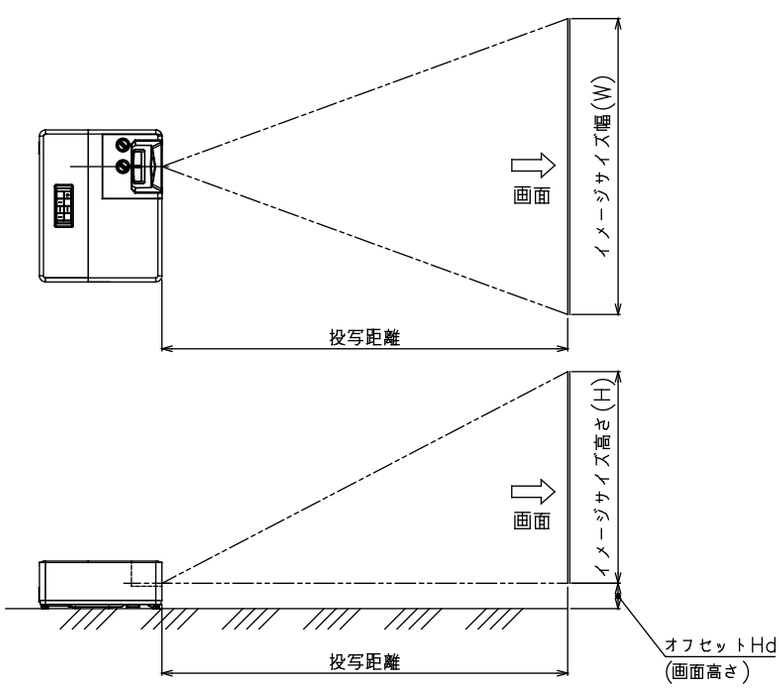
HDMI 1/2
音声の日付/形式
LPCM(IEC 60958 PCM[30、31]

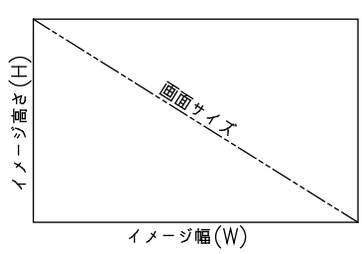
追加情報

イメージサイズと投写距離

画面サイズ WUXGA (16:10)	イメージサイズ(m)		プロジェクターの距離(m) ※1		オフセットHd(m) 最短時※3	
	幅(W)	高さ(H)	最短(ワイド)	最長(テレ)	画面高さ(最小値)※2	画面高さ(最大値)
31.5	0.678	0.424	0.814	1.303	0.063	0.148
40	0.862	0.538	1.034	1.654	0.063	0.171
50	1.077	0.673	1.292	2.068	0.063	0.198
60	1.292	0.808	1.551	2.481	0.063	0.225
70	1.508	0.942	1.809	2.895	0.063	0.252
80	1.723	1.077	2.068	3.308	0.063	0.278
90	1.939	1.212	2.326	3.722	0.063	0.305
100	2.154	1.346	2.585	4.136	0.063	0.332
110	2.369	1.481	2.843	4.549	0.063	0.359
120	2.585	1.615	3.102	4.963	0.063	0.386
130	2.800	1.750	3.360	5.376	0.063	0.413
140	3.015	1.885	3.619	5.790	0.063	0.440
150	3.231	2.019	3.877	6.203	0.063	0.467
160	3.446	2.154	4.136	6.617	0.063	0.494
170	3.662	2.289	4.394	7.030	0.063	0.521
180	3.877	2.423	4.652	7.444	0.063	0.548
190	4.092	2.558	4.911	7.857	0.063	0.575
200	4.308	2.692	5.169	8.271	0.063	0.602
210	4.523	2.827	5.428	8.685	0.063	0.629
220	4.739	2.962	5.686	9.098	0.063	0.656
230	4.954	3.096	5.945	9.512	0.063	0.682
240	5.169	3.231	6.203	9.925	0.063	0.709
250	5.385	3.365	6.462	10.339	0.063	0.736
260	5.600	3.500	6.720	10.752	0.063	0.763
270	5.816	3.635	6.979	11.166	0.063	0.790
280	6.031	3.769	7.237	11.579	0.063	0.817
290	6.246	3.904	7.496	11.993	0.063	0.844
300	6.462	4.039	7.754	12.407	0.063	0.871
301.9	6.503	4.064	7.803	12.485	0.063	0.876

※1　アスペクト比WUXGA(16:10)映写時(レンズシフト水平方向はセンター位置)での距離です。
　　投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。(許容誤差±5%)
※2　画面高さ(最小値)とは、レンズシフト垂直方向を最も下げた状態のことを指します。
※3　オフセットHdは、設置面の水平度に影響を受けるため、およその値としてください。

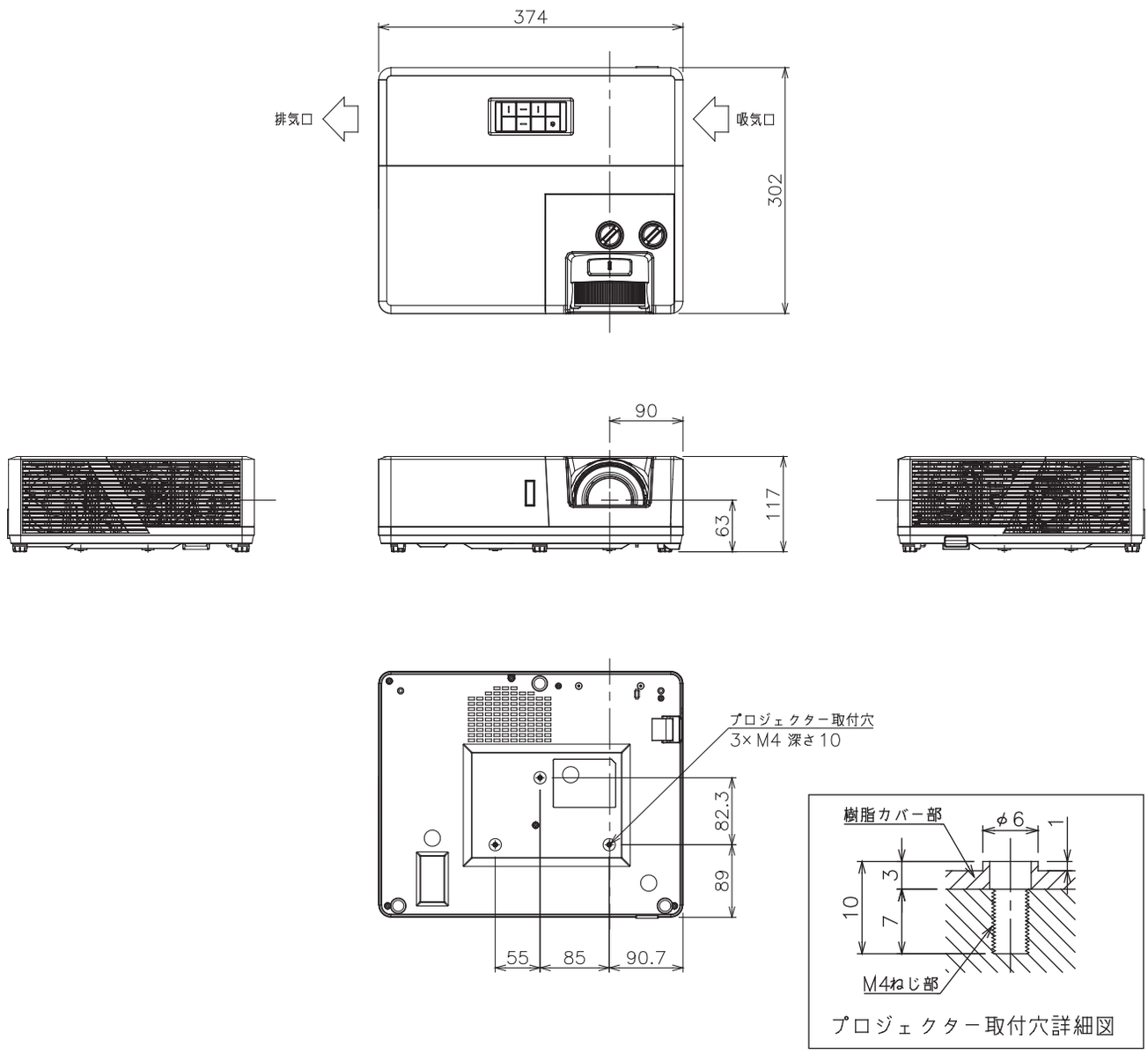




追加情報

プロジェクターの寸法および天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
   - ねじの種類：M4
   - ねじ深さ： 10 mm



単位: mm

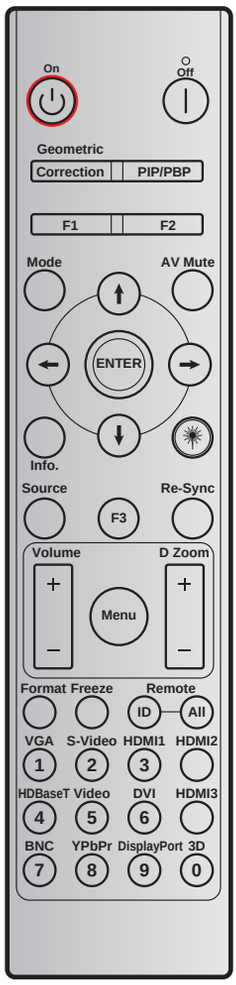
注: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずねじのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモコンコード



キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
電源オン ⏻	オン	32	CD	02	#バイト3	F1
電源オフ |	オフ	32	CD	2E	#バイト3	F1
ジオメトリ補正	ジオメトリ補正	32	CD	96	#バイト3	F1
PIP/PBP	PIP/PBP	32	CD	78	#バイト3	F1
F1	F1	32	CD	26	#バイト3	F1
F2	F2	32	CD	27	#バイト3	F1
モード	モード	32	CD	95	#バイト3	F1
4 方向選択キー（↑/↓/←/→）	上矢印	32	CD	C6	#バイト3	F1
	下矢印	32	CD	C7	#バイト3	F1
	左矢印	32	CD	C8	#バイト3	F1
	右矢印	32	CD	C9	#バイト3	F1
入力	入力	32	CD	C5	#バイト3	F1
AV 消音	AV 消音	32	CD	03	#バイト3	F1

追加情報

キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
情報	情報	32	CD	25	#バイト3	F1
レーザー ✷	レーザー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソース	ソース	32	CD	18	#バイト3	F1
F3	F3	32	CD	66	#バイト3	F1
再同期	再同期	32	CD	04	#バイト3	F1
音量	音量 +	32	CD	09	#バイト3	F1
	音量 -	32	CD	0C	#バイト3	F1
デジタル ズーム	D ズーム +	32	CD	08	#バイト3	F1
	D ズーム -	32	CD	0B	#バイト3	F1
メニュー	メニュー	32	CD	88	#バイト3	F1
フォーマット	フォーマット	32	CD	15	#バイト3	F1
フリーズ	フリーズ	32	CD	06	#バイト3	F1
リモート	ID	該当なし	該当なし	3201～3299	該当なし	該当なし
	全部	該当なし	該当なし	32CD	該当なし	該当なし
1 / VGA	1/VGA	32	CD	8E	#バイト3	F1
2 / S-Video	2/S-Video	32	CD	1D	#バイト3	F1
3 / HDMI1	3/HDMI1	32	CD	16	#バイト3	F1
HDMI2	HDMI2	32	CD	9B	#バイト3	F1
4 / HDBaseT	4/HDBaseT	32	CD	70	#バイト3	F1
5 / Video	5/Video	32	CD	1C	#バイト3	F1
6	6	32	CD	19	#バイト3	F1
HDMI3	HDMI3	32	CD	98	#バイト3	F1
7	7	32	CD	1A	#バイト3	F1
8 / YPbPr	8/YPbPr	32	CD	17	#バイト3	F1
9	9	32	CD	9F	#バイト3	F1
0 / 3D	0/3D	32	CD	89	#バイト3	F1
F3	F3	32	CD	66	#バイト3	F1

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうかをご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。(17ページを参照)
- 投写画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。(62ページを参照)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投写される画像のサイズを拡大または縮小します。(17ページを参照してください。)
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの[メニュー] を押して、[ディスプレー → アスペクト比] に進みます。異なる設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから [設定 → 投写方向] を選択し、投写方向を調整してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの動作範囲が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15° 以内にあるか確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 6m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 古くなった電池は、新しいものと交換してください。

追加情報

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

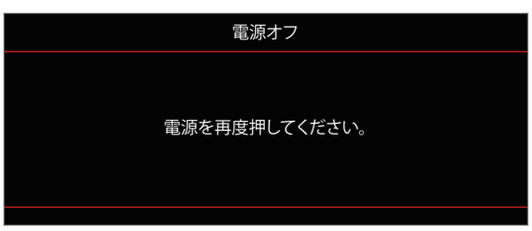
- [LD] LED インジケーターが赤く点灯し、[電源] インジケーターが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケーターが赤く点灯し、[電源] インジケーターが赤色に点滅している場合。これは、プロジェクターが過熱状態になっていることを表します。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LEDインジケーターが赤く点滅し、[電源] インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケータが再度、点灯または点滅した場合は、テクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

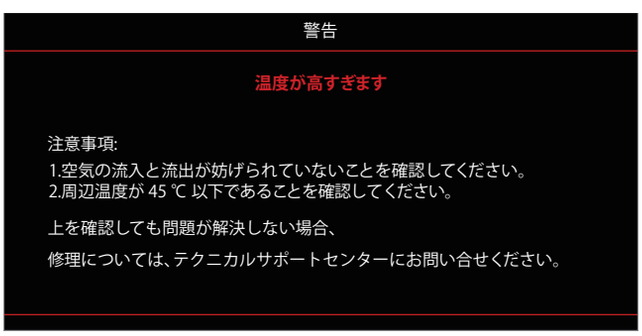
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	LD LED
	(赤色)	(白色)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)		
LDのライトをオンにします		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン) 冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります。		
エラー (LD が異常です)	点滅			点灯
エラー (ファン障害)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ:



- 温度警告:



追加情報

仕 様

Optomaプロジェクター仕様表	
商品名称	レーザー WUXGA DLPプロジェクター
型式	AZU717T
JANコード	4942465029782
本体カラー	ホワイト
投写方式	DLP®Technology
表示素子	WUXGA（1920x1200）、0.67型 DMD（1920×1200）※1
HDR信号	HDR10、HLG対応
入力解像度	取扱説明書参照
アスペクト比	16：10 ※2
明るさ	6,200 ルーメン（ANSI）
コントラスト比	300,000：1
投写レンズ	F=2.3～3、 f=17.63～27.9、ズーム1.6倍
光源	レーザー
光源寿命	30,000時間（エコモード）
投写距離	0.814m（31.5型） ～ 7.803m（301.9型） ※3
レンズシフト	マニュアル式 ： 垂直方向 100% ～ 120% ・ 水平方向 -10% ～ +10%
キーストン補正	水平±30° ・ 垂直±30°
コンピューター信号	UHD、FHD、HD、WUXGA、UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA
ビデオ対応信号	NTSC M/J 3.58MHz, 4.43MHz、PAL B/D/G/H/I/M/N, 4,43MHz、 SECAM B/D/G/K/K1/L, 4.25/4.4MHz 480i/p, 576i/p, 720p(50/60Hz), 1080i(50/60Hz), 1080p(50/60Hz)
入力端子	HDMI（V2.0 HDCP2.2 最大4K HDR（3840x2160）/60fps）×2 、 VGA IN ×2、VIDEO IN×1、オーディオ（3.5mmジャック）×2、HDBaseT ×1
出力端子	HDMI(V2.0)×1、オーディオ（3.5mmジャック）×1、USB（5V 1.5A）×1、 3D SYNC（同期）×1、トリガー（12V）×1
コントロール端子	RS-232C×1 、RJ45×1
スピーカー	15W×2（ステレオ）
騒音値	29dB（エコモード）
電源	AC 100V ～ 240V （50/60Hz）
消費電力	366W（ブライトモード）
待機電力	0.5W以下（標準モード）
RoHS指令	適合
VCCI	適合
防塵性能	IP6X
外形寸法	374（W）×302（D）×117（H）mm （突起部を含まない）
製品質量	6.1kg
付属品	電源コード、リモコン、単4電池×2、取扱注意書（QRコード）
梱包寸法	（W）560x（D）460x（H）250mm
梱包質量	約8.4kg
推奨動作環境	気温 5～40℃、湿度 10～85%(結露無きこと)

※ 仕様は予告なしで変更されることがあります。

※1 DMD™/DLP®テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが、AZU717T（1920x1200）の場合、230万個以上敷き詰められ、1秒間に9000回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現します。

※2 画面の横と縦の比率です。

※3 アスペクトWUXGA（16：10）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

memo

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター

〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496

（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50　土日祝日を除く）

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp